

官報

號外

明治二十九年三月二十日

金曜日 內閣官報局

○第九回 衆議院議事速記録第四十二號

明治二十九年三月十九日(木曜日)午後一時二十五分開議

議事日程 第四十二號 明治二十九年三月十九日

午後一時開議

- 第一 地方學事通則中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三 東京府下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)
- 第四 香川縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)
- 第五 明治二十七年法律第二十號中改正法律案(首藤陸三君外二十八名提出) 第二讀會
- 第六 輸入羊毛海關稅免除法律案(松尾寬三君外七名提出) 第一讀會
- 第七 大阪府兵庫縣境界變更法律案 第一讀會ノ續(特別委員報告)
- 第八 社寺林地保管法案 第一讀會ノ續(特別委員報告)
- 第九 岡山縣廣島縣境界變更並廣島縣下郡界變更法律案(守屋此助君外二名提出) 第一讀會
- 第十 廣島縣下郡界變更法律案(井上角五郎君外三名提出) 第一讀會
- 第十一 蠶種檢查法案(朝倉親爲君外三名提出) 第一讀會
- 第十二 輸出羽二重檢查所法案(松田吉三郎君外六名提出) 第一讀會
- 第十三 清國及朝鮮國在留日本人取締法案(鈴木充美君外一名提出) 第一讀會
- 第十四 帝國圖書館設立ノ建議案(鈴木充美君外三名提出) 第一讀會
- 第十五 棉作改良獎勵費豫算案ニ關スル建議案(喜多川孝經君外二名提出) 第一讀會
- 第十六 牛痘苗製造業者處分ニ關スル建議案(脇坂行三君外三名提出) 第一讀會
- 第十七 絹織物保護建議案(久保九兵衛君外三名提出) 第一讀會
- 第十八 水產傳習所官設建議案(改野耕三君外五名提出) 第一讀會
- 第十九 測候所増設ニ關スル建議案(濱田儀一郎君外二名提出) 第一讀會

○議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ諸般ノ報告ヲ爲シマスル

(佐脇書記官朗讀)

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
大分縣豐後國佐賀關海峽ニ燈臺及浮標設置ニ關スル建議案
提出者 毛利 莫君 廣瀬 貞文君

特別委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
葉烟草專賣資金會計法案審查特別委員長
同理事 濱名 信平君

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案外一件
審查特別委員長 西村 眞太郎君

同理事 佐藤 里治君

北海道鐵道敷設法案審查特別委員長
同理事 直原 守次郎君

特別委員左ノ通り指名セリ
府縣農事試驗場國庫補助法案起草特別委員
小松 三三君 谷澤 龍藏君

福江角太郎君 東尾 平太郎君 小倉 眞則君

安田益太郎君 赤松 新右衛門君 藤田 吉亨君

明治二十三年法律第四十六號水利組合條例中改正追加法律案審查特別委員
吉本 榮吉君 中島 祐八君 大田 信一君

立花 親信君 佐々木 松坪君 草刈 親明君

島津 忠貞君 四宮 有信君 吉富 簡一君

日本銀行課稅法案外二件審查特別委員
伊藤 德太郎君 田口 卯吉君 原 善三郎君

河原林 義雄君 山田 忠兵衛君 河北 勘七君

家祿賞典祿處分法案審查特別委員
深山 聳峯君 新井 啓一郎君 多田 作兵衛君

井上角五郎君 二位 景暢君 目黒貞治君
首藤陸三君 柏田盛文君 成田直衛君
小鷹狩元凱君 須藤時一郎君 小西甚之助君
村上芳太郎君 櫻井義起君 大島信君

森本莊三郎君、早川龍介君、花木甚右衛門君、大阪府兵庫縣境界變更法律案、高橋安爾君ハ明治二十二年法律第十號改正法律案ノ贊成ヲ取消ス旨申出ラレタリ

大阪府兵庫縣境界變更法律案贊成者中へ大北作次郎君、東尾平太郎君、太田孫治右衛門君、南野道親君、大原重右衛門君、櫻井義起君、堀越寛介君、前川慎造君、中島祐八君、田中市兵衛君、谷澤龍藏君、首藤陸三君、岡村貢君、木村警太郎君、白鳥慶一君、田口卯吉君、高橋小十郎君、村上芳太郎君、小林乾一郎君、金岡又左衛門君、室孝次郎君、長谷場純孝君、箕浦勝人君、市島謙吉君、河北勘七君、石原半右衛門君、江藤新作君、犬養毅君、松島廉作君、中山平八郎君、山田泰造君ヲ追加セラレタル旨申出ラレタリ

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程ノ第一、地方學事通則中改正法律案第一讀會——朗讀ヲ省略シマス

第一 地方學事通則中改正法律案(政府提出) 第一讀會

(左ノ讀案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治二十三年法律第八十九號地方學事通則中左ノ通改正ス
第九條第三項中「廢設並支消賣却交換讓渡質入書入」トアルヲ「設置及處分」ト改ム

第十條第三項中「府縣郡」ノ中ニ「市町村村學校組合及市町村內若クハ町村學校組合內ノ區」ノ二十八字ヲ加フ
○小室重弘君(八十八番) 今日ノ日程ノ第五ニゴザイマス明治二十七年法律第二十號中改正法律案、是ハ昨日ト同一ノ委員ニ付託スルコト、私ハ考ヘテ居リマスガ……

○議長(楠本正隆君) 其事ハ別段ニナツテ居リマス、其場合ニ爲ツテ御話シマス、——政府委員牧野伸顯君
(政府委員文部次官牧野伸顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(牧野伸顯君) 本案ハ至ツテ簡單ナモノデゴザイマシテ、別段説明ノ必要ヲ要シマセヌト思ヒマスガ、尙ホ委員會ニ於キマシテ御質問等デモゴザイマスレバ申述ベル積デアリマス、速ニ特別委員ニ付セラレンコトヲ希望シマス

○谷澤龍藏君(百六十二番) 一寸政府委員ニ説明ヲ請ヒタイ、此地方學事通則中改正法律案此十條ノ三項ノ改正ハ、極能ク分リマスルシ、便利デアラウト思ヒマスガ、此九條ノ三項中ノ改正、是ハ此理由書ニ依ツテ見マスルト此列記シタル外ニ貸付預入レト云フヤウナ場合ヲ出シテアル、監督上不都合デアリト云フコトデアリマス、然ルニ此基本財産ト云フモノハ、隨分私用ノタメニ一時貸スコトデアラウ、又隨分此預ケルト云フ事柄ガアラウ、此列記シタルコトハ、列記シタル事柄デアリマスカラ許可ヲ經ル、所デ一時貸ス、例ヘバ建家ノ如キモノデ一日或ハ町村ノ集會ノタメニ貸スト云フヤウナ事ガアリマシテモ、一々監督廳ノ許可ヲ經ナケレバナシナイ、大變不便利デ

アル、併シ弊害ガアルカラ之ヲ改メルト云フコトデアリマセウケレドモ、元來組合町村杯テ致シテ居ルコトデアリマスカラ、之ヲ決議シマシタ所ガ己ノ財産、即チ己ノ關係ノアル村方ノ事ヲスルノデアルカラ、不親切ナ事ハシナイト思フ、故ニ本員ノ考フル所デハ成ルタケ便利ニシタ方ガ宜イ、寧ロ列記法ニシテ置ケバ書入、質入ト云フ重大ナ事ハ監督官廳ノ許可ヲ經ルガ宜イケレドモ、一時基本財産ヲ貸付ケルト云フコトマデモ、一々監督廳ノ許可ヲ經ナケレバナラヌト云フコトニ爲ツテハ、遠方ノ村方デハ困ル事ガアラウト思ヒマスガ、是ハ餘程弊害ガアツテスノ如ク改正セラル、ニ至ツタコトデアリマセウカ同ヒタイ、ツレカラモウ一ツハ彼ノ基本トシテ寄付スルモノガアル、寄付シマスルニ使用ノ目的ヲ定メテ寄付スルモノガアラウト思フ、ツレハ體カ十條デアリマシタカ、目的ヲ定メタモノハ此限ニアラズト云フコトガアツタヤウデス、ツレハ寄付者ノ目的ヲ定メタモノハ別段デアルト云フ意味合デアリマス、此ニツツ御尋シマス

○政府委員(牧野伸顯君) 貸付ノ二字ヲ記入スル必要ヲ認メタノハ、從來ノ經歷上ニ依リマシテ段々此町村ノ基本財産ガ増加スルニ從ツテ、其取扱等ニ於テ——監督上ニ於テ追々困難ヲ感ズルコトガアリマス、デ、今澤山ノ類例ヲ此所デ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、併ナガラ地方カラ追々此地方長官以下ノ所ニ於テ、是等ノ貸付預入等ノ場合ニ於テモ、矢張監督官廳デ一應其理由ヲ聞イテ、サウシテ許可ヲ與ヘルト云フコトニスル方ガ取締上都合ガ宜シイト云フコトデ、此改正案ヲ提出致シタノデアリマス、是ハ格別手數ノ掛ル事デモゴザイマセヌ、許可ヲ得ルト云フダケノコトデアリマスカラ、ツレダケノ手續ヲ盡シテ置キマスレバ、一層監督上都合ガ宜イ譯デアリマス、サウ町村ニ大變手數ヲ與ヘルト云フコトデモアリマセヌ、又勿論町村ニ於テ十分堅固ナ方法ヲ以テ基本財産ヲ保管致シテ居リマスカレドモ、隨分澤山ノ町村デゴザイマシテ、中ニハ不都合ナ事モアリマスカラ、斯ウ云フ一般ノ取締ヲ設ケタイト云フ希望デアリマス

○谷澤龍藏君(百六十二番) 唯今寄付ノ事ヲ尋ネマシタ、各地方カラ申立デタカラ斯ウシタト云フコトデアリマスガ……
○政府委員(牧野伸顯君) サウデアリマス、實地是ニ從事シテ居ル當局者ヨリ段々請求モアリマシテ……

○谷澤龍藏君(百六十二番) 此基本財産ト云フモノハ、僅ニ一時貸ス家杯ニシマシテモ、一日ノ集會ニ貸スコトガアル、ツレデモ遠方カラ……許可ヲ得ルコトニ爲ル、ツレハ矢張サウ云フ意味合ニ爲ツテ宜イノデスカ
○政府委員(牧野伸顯君) ツレハ法ノ解釋上ニ依リマスカラ、一日位貸シマスト云フヤウナコトハ法文ノ解釋上ニ於テ必シモツレハ要セヌト思ヒマス、ツレ等ノ場合ニ於キマシテハ……

○議長(楠本正隆君) 日程ハ第二ニ移リマス、特別委員ノ選舉

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○吉本榮吉君(八十二番) 議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ナシト認マ

○議長(楠本正隆君) 議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ナシト認マ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 其通ニ決定致シマス、次ハ日程ノ第三、東京府下郡廢置法律案、第一讀會ノ續

第三 東京府下郡廢置法律案

第一讀會ノ續(特別委員)

○東尾平太郎君(二百八番) 委員長ガ闕席デゴザイマスカラ、一寸拙者ヨリ代理ヲ致シテ御報告ニ及ビマスガ、東京府下郡廢置法律案ハ政府提出竝ニ高木正年君ノ提出ト二ツアリマスガ、詰リ同一ノ案デゴザイマシテ唯名稱ガ違フ、政府提出ノ案デハ南豐島郡トシテアリマスガ、高木君ノ案ハ豐多摩郡トシテアリマス、委員會ニ於テハ高木君ノ豐多摩郡ヲ採用シマシテ、政府ノ案ノ南豐島郡トアリマスノハ豐多摩郡ト改正シマシタカラ、此段御報告シマス

○高木正年君(百二十九番) 此案ハ別ニ御質疑モナク、政府モ同意致シテ居リマスカラ、讀會ヲ省略シテ直チニ確定セラレンコトヲ望ミマス

(贊成ト呼フ者アリ)

(政府委員内務書記官木内重四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(木内重四郎君) 是ハ何デモアリマセヌガ、名稱ダケハ原案ノ通ニ南豐島郡ト云フコトニ御賛成ヲ希望致シマス、ト云フハ東京府下ニハ南豐島郡、北豐島郡共ニ相應ニ大キナ郡デアリマス、然ルニ東多摩郡ノ方ハ人口ヲ比較スルト、餘程南豐島郡ヨリ小サイノデアリマスカラ、強テ多摩郡ト云フ名稱ヲ存セズトモ、外ニ南モ西モ北モアルト云フ多摩郡デアリマスカラ、東京府下ノ中ニ多摩郡ト云フノガ三ツモ存在シテ居ルノデアリマスカラ、東ダケガ一ツナクナツテ差支ハナイト思ヒマスカラ、南豐島郡ト云フ原案ノ名稱ヲ存セラレンコトヲ望ミマス

○橋本省吾君(百十九番) 今政府委員カラ致シマシテ原案ノ如ク南豐島郡トシタイト云フコトデゴザイマスガ、唯政府委員ノ御言葉ニ依リマスルト、南豐島郡ガ人口ガ多イトカ、戸數ガ多イトカ云フ御話デアリマスガ、是ハ面積ノ上カラ云フト、東多摩郡ノ方ガ多イトカ云フ御話デアリマスガ、是ハ面積ニ依リマスルト、南豐島郡ト致シタ時分ニ、南豐島郡ノ村長及東多摩郡ノ村長等ハ舉テ此南豐島郡トスルノハ甚ダ宜クナイト云フノデ、雙方連署ノ上デ豐多摩郡トシタイト云フコトヲ東京府廳ニ願ッテ居リマス、ソレニモ拘ラズ政府ハ尙ホ南豐島郡ニ掲ゲテ置クト云フコトハ、甚ダ人民ノ輿望ニ背ク處置ト思ヒマス、満場ノ諸君希ハクハ豐多摩郡トシタ方ガ、兩郡人民ノ輿望デゴザイマスカラ、ドウゾ修正案ノ通御同意ヲ願ヒマス

○議長(楠本正隆君) 讀會ヲ省略シテ決議ヲ採ルコトニハ御異議ナシト認メマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 而シテ委員ノ修正案ヲ議題ト爲シテ決議ヲ採リマス

(東京府下郡廢置法律案(政府提出))

確定議

○議長(楠本正隆君) 別段御動議ナキヲ以テ委員ノ修正案ニ確定ヲ報ジマス

次ハ香川縣下郡廢置法律案 委員長小鷹狩元凱君

第四 香川縣下郡廢置法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員)

○小鷹狩元凱君(二百六十三番) 簡單ノ事デゴザイマスカラ此處デ申シマ

ス、昨日委員會ヲ開キマシテ此香川縣ノ郡廢置法律案ヲ議シタノデゴザイマスルガ、此香川縣ノ郡廢置法律案ノ中第一項、第二項ニ當リマスル郡ニ於テハ、段々請願委員ノ方ニ請願モゴザイマシテ、此原案ヨリハ少々變ツタ事モアル、デ、此變リト申シマスルノハ即チ此第一項ノ大内郡、寒川郡ノ二郡ヲ廢シ、其區域ヲ以テ大川郡ヲ置クト云フコト、ソレカラ一ツハ香川縣讚岐國三木郡、山田郡ヲ廢シ其區域ヲ以テ木田郡ヲ置クト斯ウゴザイマスルノヲ變ヘマシテ、第一ノ方ヲ原案ニ二郡ニ爲ッテ居リマスルノヲ、ソレヲ請願委員ノ方ニ於キマシテハ大内郡、寒川郡、三木郡ト云フ三郡ヲ以テ一郡ト爲シ、又此原案ニハ出テ居リマセヌガ、香川郡ト申シマスル郡ト、山田郡ト云フモノヲ一ツノ郡ニ致シマシテ、二ツノ郡ヲ此處ニ置クト云フコトニ爲ルヤウニト云フコトヲ、請願委員カラ段々ツレツレ出テ居リマス、就キマシテハ委員會ニ於キマシテモ請願委員ノ申ス所モドウデアラウカト云フコトニ就イテ贊成シテゴザイマシタガ、其贊成ト申シテモ極少數ノ事デゴザイマシテ、委員會ノ多數ト云フモノハ、此政府案ノ如ク一字一句ヲ變ヘズシテ其通ニシタガ宜カラウト云フノガ委員會ノ多數ノ意向デ、原案ヲ贊成スルコトニ委員會ハ決シマシテゴザイマスカラ、此段ヲ此處デ一寸御報告致シマス

○議長(楠本正隆君) 該案ハ反對ノ說モアルヤウデゴザイマスカラ、二讀會ヲ開ク如何ヲ起立ニ諮ヒマス、二讀會ヲ開クコトニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數デアリマス、御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開クコトニ議長ヨリ請求シマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 直チニ二讀會ヲ開キマス

香川縣下郡廢置法律案(政府提出)

第二讀會

○小西甚之助君(百二十七番) 諸君、本員ハ本案ニ對シテ修正ノ意見ヲ述ベヤウト存ジマス、即チ其修正ノ次第ハ、本案第一項ト第二項ト及附則トヲ改メヤウト致スモノデゴザイマス、本案第一項ニハ「香川縣讚岐國大内郡及寒川郡ヲ廢シ其區域ヲ以テ大川郡ヲ置クト」トゴザイマス、之ヲ改メマシテ「香川縣讚岐國大内郡、寒川郡及三木郡ヲ廢シ其區域ヲ以テ大木川郡ヲ置クト」トスルニ致サウト思フノデゴザイマス、次ハ第二項ニ本案ハ「香川縣讚岐國三木郡及山田郡ヲ廢シ其區域ヲ以テ木田郡ヲ置クト」トゴザイマスルモノヲ改メテ「香川縣讚岐國山田郡及香川郡ヲ廢シ其區域ヲ以テ香山郡ヲ置クト」トスルニ致サウト思フノデゴザイマス、又附則ニ於テハ本案ハ「此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス」トゴザイマスルモノヲ改メテ「此法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス」トスルノ如ク致サウト思フノデアリマス、此私ノ修正案ハ實ニ今日ノ行政區畫ト同シヤウナモノデゴザイマシテ、今日ノ行政區畫ノ通ニ致サウト云フコトニ外ナラナイモノデアアル、則チ此修正ノ如キモノハ、政府ニ於テモ既ニ第一期議會ニ於テハ斯ノ如クセラレテ提出ニ爲ッタコトデゴザイマス、私ハ此修正ノ意見ハ、第一期以來持續イテ居リマシテ瞬時モ息ムコトノ出來ナイ、常ニ斯クナラナケレバナラナイト云フコトヲ主張ヲ致シ、又心竊ニ之ヲ信ジテ居ルモノデゴザイマス、今幸ニ香川縣下ニ於ケル郡ノ廢置法案ノ提出アリ、又一面ニ於テハ幸ニ其特別委員ノ末席ヲ濱スコトヲ得マシタ

ガ故ニ、實ニ宿昔ノ意見ヲ達スルハ此時ニアリト待構ヘテ居リマシタコトデ
ゴザイマス、而シテ此事ハ既ニ先般山口縣及和歌山縣ノ郡廢置法案ヲ議スル
場合ニ於キマシテ、委員會ニ於テ私ハ斯ノ如キ終正ノ意見ヲ持ツテ居ルモノ
デアルト云フコトヲ既業ニ豫告ヲ致シテ置イタコトデゴザイマス、然ル處
昨日ノ委員會ニ於テ、不幸ニモ私ハ一言モ述ブルノ期ヲ得ナカッタコトデゴ
ザイマス、ソレハ實ニ本員ノ過デゴザイマス、昨日ハ早朝ヨリ出席ヲ致シマシテ、十
分此事ヲ述ベヤウト思ヒマシタノデゴザイマス、而シテ他ノ委員諸君ノ來ラ
ル、ノヲ待ツテ居リマシタガ、折節私ニ向ツテ緊急ナ話ヲシタイト云フ、
即チ地方ノ陳情委員ガ參リマシテ、餘儀ナク其方ヘ出テ話合ヲ致シテ居
タノデゴザイマスガツイノ、知ラズ識ラズ長時間ニ涉リマシテ、サウシテ委
員會ニ歸ツテ見マシタラバ、最早委員會ハ既ニ閉會ヲ致シ、香川縣ノ案ニ
對シテハ原案ノ如ク可決ヲ致シテ、直チニ委員長ヨリ議長ヘ報告濟ニ爲ツテ
シマツタコト云フコトヲ聞イタノデゴザイマス、頗ル私ハ遺憾ヲ極メテゴザイ
マスガ、是レ全ク私ガ其席ヲ離レテ居リマシタコトデゴザイマス、何トモ
致方ノナイコト、存ズルノデゴザイマス、昨日ノ委員會ニ於ケル可否ノ數ニ
入りタル出席者ハ即チ八名デアッタサウデゴザイマス、而シテ本員ノ意見ヲ或
ル議員ニ於テ代表ヲシテ述ベテ吳レタサウデゴザイマスガ、採決ノ場合ニ於
テ少數ニ依ツテ決レタサウデゴザイマス、是レ最モ私ノ遺憾トスル所デゴザ
イマス、併ナガラ又大ニ人意ヲ強ウスルモノガアルノデゴザイマス、是ハ餘ノ
事デゴザイマセヌガ、此特別委員十八人ノ中ニ於キマシテ、二人ト云フモ
ノハ病氣ニ依ツテ請暇ヲ得テ、出席ノ出來ナイモノデゴザイマス、然ラバ委
員長ヲ除クトキハ其可否ノ數ニ入ルベキ人員ハ實ニ十五名デゴザイマス、而
シテ此十五名ノ中ノ十名マデハ本員ト同シキ意見ヲ持ツテ居ル者デアアル、即チ
議長ノ手許ヘ出シテゴザイマスル所ノ修正案ニ贊成ヲ致シテ居ル所ノ委員
ハ、私ヲ合セマシテ都合十名モアルノデゴザイマス、故ニ委員會ニ於テハ什
レマシタコトデゴザイマスルケレドモ、委員會個々ノ上カラ考ヘマスルト云フ
ト、全ク五名ニ對スル十名ノ多數ヲ持ツテ居ルモノデゴザイマスルガ故ニ、本
員ノ修正說ハ寧ロ委員ノ多數ヲ得テ居ルモノデアアルト云フコトヲ茲ニ斷言シ
テ少シモ差支ノナイ事デアアラウト思フノデゴザイマス、此事ハ豫メ諸君ニ於
テ御諒承アラント望ミ置キマス、諸君本問題ハ實ニ事地方永遠ノ利害ニ
關シマシテ、頗ル重大ナルモノデゴザイマス、頗ル重大ナルモノデハゴザイ
マスルガ、私ハ大ニ鑑ミマスル所ガゴザイマスルガ故ニ、枉ゲテ最モ簡單ニ
其理由ヲ述ベヤウト思フモノデアアル、何トナラバ本會ニ於テハ地方問題程述
ベルモノニ於テ適切ナルモノハゴザイマセヌ、然レドモ又地方問題程聽ク方
ニ取ツテ不適切ナルモノハナイト私ハ感ズルカラデゴザイマス、況ヤ又詳細
ニ述ベマシタ所ガ、地理トカ、人情トカ、風俗トカ、習慣トカ、凡ソ斯クノ
如キモノヲ列ベ來ツテ諸君ノ御耳ノ前ニ供ヘヤウト致シマシテモ、諸君ヲシ
テ満足ナ事ヲ御了解セシムルト云フコトハ、到底爲スコトノ出來ナイモノデ
アルカラデゴザイマス、故ニ唯一ヲ以テ二ヲ察セラレント云フ返スミモ諸
君ニ向ツテ御祈リヲ致スノデアアル、凡ソ新ニ郡ヲ定メルト云フコトハ、要ス
ル所法律的郡ノ性質ト、地方的郡ノ狀態トヲ一致和合セシムルコトデアアル、

併ナガラ此原則メキタモノ、説明ナンノト申スヤウナ事ハ止メマシテ、短刀
直入是ヨリ實際ノ御話ニ進ミ込マウト思ヒマスルガ、唯一言ヲ致シテ置キタ
イコトハ、詰リ本員ノ修正タル、全ク右ノ原則ヨリ割出シタモノニ外ナラヌ
コトデゴザイマス、此事ハ是レ亦豫メ御諒承アラント希望シテ置キマス、
抑、當香川縣ノ地勢ハ實ニ平坦ナノデアアル、決シテ山ヲシキ山ナク、又決シ
テ川ヲシキ川ガアルノジャナイ、成ル程南方ニ當ツテ一帯ノ山嶺ガゴザイマ
スルケレドモ、是ハ全ク阿波ノ國ヲ堺スル所ノモノデゴザイマス、決シテ
縣内ニ在ル所ノモノデナイ、然ラバ決シテ香川縣ノ地勢ニ於テ、山ニ隔テラ
レ、川ニ挾マレテ、不便デアアルト云フコトハ毫モナイノデゴザイマス、サ
ウシテ道路ト云フモノハ、粗末ナガラモ東西南北縱橫ニ致シマシテ、決シテ
不便ヲ缺カナイモノデアアル、鐵道ノ如キ、是レ所謂西讀、即チ西ノ讀岐ニハ
ゴザイマス、未ダ東ノ讀岐ニハ及ビマセヌケレドモ、道路ノ如キハ十分ニ
貫通ヲ致シテ居リマスルガ故ニ、決シテ差支ノナイモノデゴザイマス、故ニ
交通ハ最モ自由デアアル、最モ自在デアアルト申シマシテモ少モ差支ガナイノ
デゴザイマス、斯様ニ交通ハ最モ自由デアアル、最モ自在デアゴザイマスルガ故ニ、
人情ガ異ツテ居ルノ、風俗ガ同カラヌト云フヤウナコトハ、又少モナイ
ノデアアル、故ニ新ニ郡ヲ置カウト致シマスルナラバ、一縣ノ各郡、成ルタケ
大小ナク、成ルタケ強弱ナク、成ルタケ廣狹ナク、平衡ヲ得セシムルコトガ
國ノ行政、縣ノ行政上ニ於テ便利デアアルノミナラズ、又其郡自身ノタメニモ
頗ル便宜デアアラウト思フノデアアル、頗ル都合ノ宜イモノデアアラウト思フノ
デアアル、何トナラバ自郡ト他郡ト、施設上ニ大小差異ノアリマスルト云フコト
ハ、實際ニ於テ種々様々ノ不便不都合ノアルト云フコトハ、申スマデモナイ
明白ナ事柄デアアルカラデゴザイマス、然ルニ此政府ノ提出セラレタル所ノ案
ニ依ルト云フト、所謂西讀即チ西讀岐ニ屬スル所ノ三郡ハ、猶ヒモ揃ツテ比
較的大キクナツテ居ルモノデアアル、サウシテ東讀岐ノ三郡ハ、竝ビモ揃
小サクナツテ居ルノデアアル、今試ニ先ツ人口ニ就イテ申シマスレバ、綾歌郡、
仲多度郡、三豐郡、是ガ西讀岐ニ屬スル三郡デゴザイマスガ、總テ皆十萬臺
デアアル、殊ニ三豐郡ノ如キハ十三萬七千ト云フモノデアアル、然ルニ彌
川郡ヲ見レバ幾ラデアアルカ、僅カニ八萬臺デアアル、木田郡ハ幾ラデアアルカ、
僅ニ七千臺デアアル、香川郡ハ幾ラデアアルカ、僅ニ八萬臺デアアル、是レ實ニ東
西ニ於テ人口ノ懸隔スル所ト云ハナケレバナラナイノデゴザイマス、又耕地
段別等ニ就イテ考ヘマシテモ、又此東西懸隔ヲ致シテ居ルノデアアル、例ヘバ
西三郡ノ如キハ、或ハ七萬二千町、或ハ一萬町、或ハ一萬町ト云フモノデ
ゴザイマス、東三郡ノ如キハ或ハ六千町、或ハ七千町ト云フヤウナモノニ過
ザイマス、其他地租等ニ就イテ之ヲ申シマスルニ、西ノ三郡ト云フモノハ
或ハ十四萬三千ト云ヒ、或ハ十萬ト云ヒ、或ハ十三萬七千ト云フノデアアル、
願テ東ヲ見レバ八萬八千トカ、九萬四千ト云フヤウナモノデ、僅ニ木田郡
ケガ十萬ニ居イテ居ル位ノコトデゴザイマス、斯ノ如ク西ノ三ツガ強ウテ、
東三ツガ弱イト云フコトハ、一縣内自ラ行政上ニ不便ナリト云フコトハ申
マデモナイコト、又一國ノ上ニ於テモ行政上ニ甚ダ不便ノアルモノト私ハ思
フノデアアル、殊ニ香川郡ノ如キハ高松ニ市制ヲ實施サレマシタ以來ト云フ
モノハ、統計別ニ於テ種々ノ縮小減額セラレタル事項ガアルノデゴザイマ

ス、到底香川郡ノ圓滿ニ獨立ヲ爲スト云フコトハ望デ望ミ得ベカラザル事デア
アラウト思フ、左様ナ譯柄デゴザイマスルガ故ニ、本案ハ一ハ縣内ノ各郡ノ
權衡ヲ失ヒ、一ハ合併セシムル統計上ノ狀態等ニ應ズルダケニ依ツテ、前ノ
如ク修正ヲ致サウト存ズルノデアリマス、抑、此修正ハ第一期議會ニ政府ノ
提出案通デゴザイマシテ、又實ニ明治十五年以來ノ行政區畫其儘デゴザイマ
ス、サウシテ彼ノ少數ノ人ヲ除クノ外、一般多數ノ常ニ便益ナリト云フテ居
ル所ノモノデアアル、加之此修正通、即チ現行ノ如ク行政區畫ノ改定ヲ致サレ
マシタト云フモノハ、實ニ當時ノ縣會ノ議決ニ依ツテ改定セラレタルコトデ
ゴザイマス、既ニ縣會ノ議決ニ依ツテ大内、寒川、三木ヲ以テ一郡役所トシ、
山田、香川ヲ以テ一郡役所ヲ置クト云フコトニ致サレタコトデゴザイマス
カ、其縣下ノ公論デアアル、其實際ノ狀態ニ適合シテ居ルト云フコトハ、之ヲ
以テ證シ得ルニ綽々トシテ餘リアルモノデアアラウト思フノデアアル、殊ニ寒
川郡ト三木郡トハ、所謂唇齒輔車ノ關係ガゴザイマシテ、或ハ水利ナリ、或
ハ土木ナリ、數百年以來ノ連結シタル慣習ノアル所デゴザイマシテ、決シテ
離レヤウトシテ離レ得ベカラザル所ノモノデゴザイマス、其離レ得ベカラザ
ル道理ノ一端ヲ舉ゲテ見マスレバ、實ニ道理モ道理デアアル、三木郡ヲ之ヲ大別
シテ山北地方、山南地方トシテ居ルモノデアアル、サウシテ其山北地方ト云フ
モノハ、名ハ三木郡デアアルカナレドモ、往古ヨリ彼ノ郡區制度ヲ施カル、前
マデハ、矢張寒川郡ニ屬シテ居ッタモノデアアル、即チ寒川郡ハ代官役所ノ支
配ノ下ニ屬セシメテアッタ位ノモノデアアル、斯様ナ次第デゴザイマスルガ故
ニ、寒川郡ト三木郡トハ離レント欲シテ離レベカラザルノ關係ガアルト云フ
コトハ、實ニ一朝一夕ノ事ニアラズシテ、數百年以來ノ事デゴザイマスレバ、
今日ニ於テ之ヲ別々ニ致サウト云フコトハ、實ニ其當時ノ慣例ヲ破ルモ甚シ
イモノデアアルト謂ハナケレバナナリナインデアアル、斯様ナ關係ガゴザイマス
ルガ故ニ、維新以來廢藩ニ至リマスルマデモ、寒川郡ト三木郡トハ大内郡ヲ加
ヘテ所謂大内、寒川、三木郡ヲ一ツノ司農掛——司農掛ト云フモノハ、百
姓ヲ司ル掛デ、即チ同一郡役所ノ下ニ支配セラレテ居ッタモノデゴザイマ
ス、サウシテ其寒川郡ト三木郡ト、一時一寸分離ヲ致シテ居ッタコトガアル
ノデ、之ヲ……縣ノ管轄ヲ離レテ、新ニ香川縣ヲ置カレル時分ニ、一寸暫
クノ間一緒ニ爲ツテ居ッタコトガアル、即チ寒川郡ト三木郡ト相離レテ、三
木郡ト山田郡ト暫ク一緒ニ爲ツテ居ッタコトガアルノデアアル、サリナガラ是
ハ二郡ヲ以テ一大區トスル此制限上ヨリ已ムヲ得ズ離レタモノ、ソレヨリ引
移ツテ居リマスコトデゴザイマスルガ故ニ、決シテ今日ノヤウナモノハ全ク
違フノデアアル、其暫ク離レテ居ッタ他ニ、一緒ニ爲ツテ居ッタコトデゴザ
リマスルガ、是モ常ニハ三木郡ノ郡民、寒川郡ノ郡民、或ハ大内郡民カラ、
與ニ縣廳ニ向ツテ是非此三郡ト云フモノハ一緒ニ爲ツテ居ラナケレバナ
ナイ、決シテ離レベキモノデアナイト云フコトヨリシテ、種々ニ請願ノ末、
縣廳ニ於テモ之ヲ採用シヤウト云フ所ニ當ツテ縣會ノ聞ク所ト爲ツテ當時

縣會ハ全會一致ヲ以テ、ドウシテモ此三郡ノ上ニ一郡役所ヲ置カナケレバ
ナイ、又西ニ於テハ山田郡、香川郡ノ上ニ一郡役所ヲ置カナケレバナ
ト云フコトノ決議ヲ致シテ、今日ニ其議決ヲ今ニ繼續致シテ居ル次第デゴ
ザイマス、是レ實ニ離レベカラザル所ノモノデアアルト云フコトノ一端ヲ、諸君
ニ於テ既ニ業ニ御了解下サレタコト、私ハ信ズルノデアアル、又山田郡ト香川
郡トノ關係ノ如キモ、前ニ在ッテハ維新以來廢藩ニ至リマスルマデ一ノ司農
掛、即チ當時ノ郡役所ノ下ニ支配セラレテ居ル、後ニ在ッテハ明治十五年以
來縣會ノ決議ニ於テ、當時ノ行政區畫ト爲ツテ今日マデ仕來ッテ居ルノデ
アリマス、サレバ古來ノ慣習公共等ノ事業ハ分離スベカラザル事情ノ存ス
ト云フコトハ今更申スマデモナク、既ニ業ニ公ケニ證明セラレテ居ルト云フ
モ差支ガナイト思フノデアリマス、殊ニ地理ノ上カラ觀察ヲ致シマスレバ、此
山田郡ト香川郡トハ一郡域ニ爲ラナケレバナラヌ狀情ハ地圖ヲ一見スレバ爭
フベカラザルモノデアアツテ、容易ニ知ルコトガ出來ルコトデゴザイマス、殊
ニ香川郡ガ一度高松市ノ分離ニ依ツテ境土ノ事業上ニ著シク變更ヲ來シマ
シテ、一郡ノ獨立上ニ頗ル影響ヲ受ケテ居ルノデアアル、故ニ香川郡ハ獨立ス
ル頗ル不利益ニシテ、從來ノ關係ヨリシテ山田郡ト合併スルコトガ、實ニ兩
郡相互ノ利益ニシテ、保全スル所以デアアルト私ハ信ジテ少モ疑ハヌコトデ
ゴザイマス、蓋シ地方ノ區域ヲ定ムルハ地方百年ノ區域ヲ定ムルコトデア
ツテ、地方千萬人ノ形體ヲ作ルコトデアアル、地方千萬人ノ精神ヲ作ルコト
デアアル、然ラバ決シテ輕シク變更改訂スベキモノデアナイ、若シ夫レ萬一ニモ千
百年ノ區域ヲ定ムルニ、今日一時ノ感情ニ制セラレタリ、又千萬人ノ形體、
千萬人ノ精神ヲ作ルノニ、今日二三少數ノ人ノ行掛リニ支配セラレタリシ
テ、復タト容易ニ變更改訂ノ出來難イ地方ノ區域ヲ輕シク定ムル如キハ、實
ニ千百年ノ長歲月ニ對シ、千萬人ノ多數ニ掛ケテ、何トモ申譯ノナイ遺憾ノ次
第デアルト私ハ考ヘマスルノデアアル、故ニ私ハ屢々三木郡ノ郡民ニ説諭ヲ加
ヘ、又屢々山田郡ノ郡民ニ説諭ヲ加ヘテ、將來ノ利害ハ決シテ今日ノ眼前ニ
現ル、所ノ感情ヤ行違ヲ以テ決シテ決スベキモノデアナイト云フコトヲ、諄々
倦マズ常ニ説諭ヲ致シマシテ、多數ノ人ハ固ヨリ尤デアアルト言ツテ、是ニ服
スルコトデハゴザイマスルガ、唯少數ノ人ガドウ云フ考ガアルカ、ドウ云フ
望ガアルカ、常ニ私ノ諄々加フル所ノ説諭ニ從ハヌノハ、實ニ私ノ常ニ遺憾
トシテ居ル次第デゴザイマス、本員ノ茲ニ申シマスル所、茲ニ修正シマスル
所ハ、全ク是レ一片愛郷ノ至情ニ出ヅルノデアアル、赤心ノ進ル所胸爲ニ塞リ、
前後錯雜十分意ノ在ル所ヲ諸君ニ知ラシムルコトガ出來マセヌガ、之ヲ認
メテ公平無私デアアルト云フコトハ、本員ガ俯仰天地ニ對シテ少モ耻ヂザル所
デゴザイマス、諸君、幸ニ之ヲ御諒察アツテ、本員ノ修正説ニ御賛成アラ
ントヲ偏ニ希望ノ至ニ堪ヘマセヌ

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 此修正説ニ定數ノ贊成ガアルヤ否ヤヲ確メマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ修正説ハ問題ニ爲リマシタ

〔採決々々〕ト呼フ者アリ

○小鷹狩元凱君(二百六十三番) 小西君ノ發言ニ對シテ委員長トシテ辯シナケレバナラヌ事ガゴザイマス、一寸御許ヲ願ヒタイ

〔採決々々〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 委員長トシタナラバ仕方ガナイ、ツレナラバ宜シイ

○小鷹狩元凱君(二百六十三番) 唯今小西君ノ御辯シニナリマシタ中ニ、委員會ハ八名デ開イタト云フ御言葉デゴザイマスガ、是ハ間違デゴザリマス、昨日ハ小西君ハ第一番ニ御出頭ニナツタガ、ドコニ御出デナツタカ分ラヌカラ、種々探シマシタガ、小西君ハ遂ニ其席ニ御臨ミニナラナカッタガ、會ヲ開イタトキハ何人デアアルカト申セバ、茲ニ明ニ申シマスガ、守屋此助君、竹内正志君、石原彦太郎君、大田信一君、和田彦次郎君、井上角五郎君、森輝見君、鎌田勝太郎君、佐藤兵八君及不肖本員トデ、十名致シマシテ委員會ヲ開イタコトデゴザリマス、ツレカラ昨日ハ香川縣バカリノ會議デゴザリマシテ、其會議ノ終ニ及ンデ殆ド其時大石君ト井出君ノ兩君ガ御見エニナツタカラ、十二人デ以テ昨日ノ委員會ヲ結了シタ譯デゴザリマス、小西君ガ御自分ノ意見ヲ十分御主張ナサルノハ宜シウゴザリマスガ、人ガ少カッタト云フニ至ッテハ甚ダ驚入ッタコト、思ヒマス、委員會ノ人數ノ事ヲ御報道致シマシテ、小西君ノ言ッタ人數ノ誤デアルト云フコトヲ御承知ニナランコトヲ望ミマス

○議長(楠本正隆君) 通告ニ從ヒマス——中野武營君

〔中野武營君演壇ニ登ル〕

○中野武營君(二百三十四番) 諸君、地方ノ事ハ其地方ノ者ヨリ申上ゲマセヌト、他ノ御方デハ實際ガ御明瞭ニナラヌ故ニ疑ヲ生ジマスルコトデゴザリマスガ故ニ、本員ハ此香川縣ノ者デゴザリマスカラ、本案ニ對シ且小西君ノ唯今ノ段々ノ御陳述ニ對シテ、一言申述ベタイノデゴザリマス、此原案ノ如ク二郡宛ヲ纏メマシテ其區域ヲ以テ一郡ニシマスルト申スコトハ、實地適當ナノデゴザリマス、此中小西君ノ御修正ハ大内郡、寒川郡ノ上ニ三木郡ト云フモノヲモウ一ツ加ヘテ、三郡ヲ一纏メニシテ三郡ヲ置カウト云フ御修正ナンデス、而シテ此原案ニ出テ居リマセヌ外ニ香川郡ト申スコトハ、其香川郡ヲ持出シテ來テ此山田郡ト云フノ一郡ヲ置カウト云フ御考ナノデゴザリマス、抑、此大内郡、寒川郡ト云フノ二郡此原案ノ通、三木郡ト山田郡ト云フノガ此原案ノ通ニ爲ッテ居ルコトハ、是ハ極久シイ頃ヨリ斯ウナッテ居リマス、即チ舊藩ノ時分ニ二郡宛ヲ合セマシテ、一ノ代官ヲ置キマシテ一ツノ配下ニシテアツタコトハ、百年、二百年來ノ慣習デゴザリマシタ、ツレカラ新縣ニ爲リマシテモ、明治十五年頃マデハ此二郡宛ヲ合セテアツタツデゴザイマス、ツレガ不幸ニ致シテ御承知ノ通香川縣ハ廢セラレタリ、又

再置セラレタリシテ——屢々香川縣ハ廢置セラレマシタ縣デゴザイマス、其當時伊豫國ト讃岐國ヲ併セテ愛媛縣ト云フモノニ爲リマシテ、サウシテ地方稅ノ支出ノ上カラ致シテ香川、即チ讃岐ノ中デ一ツノ郡役所ヲ減ジ、又伊豫國ノ方デモ郡役所ヲ減シテ地方稅ヲ減ラサウト云フノガ、伊豫國ノ方ト讃岐ノ方トノ議員ノ協議ニ依ッテ、伊豫ノ方モ郡役所ヲ纏メテ減サレ、讃岐ノ方モ郡役所ヲ一箇所纏メテ減ラセルト云フ結果、此大内、寒川、三木ヲ一纏メシテ一ツノ郡役所ニシタダケノコトデアアル、是ガ事實ナンデゴザリマス、ツコデ小西君ハ類ニ此三郡ヲ一纏メシナケレバナラヌト云フコトヲ仰シリマスガ、誰ガ此言ヲ輿論ト認ムルコトデゴザリマセウカ、私ハ一言申シタナラバ、ハッキリスルト思フノハ、小西君ノ仰セラレマシタ通、明治二十三年ニ政府ガ現在其時分ニ郡役所ガアル謂レヲ以テ、合併ヲサセルト云フ法案ヲ提出サレマシタ當時ニ當ッテ、讃岐ハ如何ナル舉動ヲ致シタデゴザリマセウカ、各郡ノ選出議員悉ク連署ヲ致シテ、ツレカラ香川縣ヨリ選出ニ爲ッテ居リマスル代議士ガ悉ク連署ヲ致シテツレハ不當デアアル、矢張同シ寒川、三木、山田ト斯ウ三郡、即チ今ノ政府案ノ通り——唯今ノ政府案ノ通ニ合併デナケレバ實地不適當デアルト云フコトヲ縣會議員——各郡ノ縣會議員、ツレカラ各郡ヨリ選出ニ爲ッテ居ル代議士五名ガ皆連署ヲ致シテ申立デタマシタデゴザイマス、ツレハ小西君モ其連署ニハ御調印ニナツテ居ルノデゴザリマス、三崎君モ御同意、ツレカラ私、其當時綾井武夫君ガ選出議員デゴザリマシタ、是レ皆同意デアッテ、チャント縣下ノ意見ト云フモノハ疾ウニ其當時定ッテシマフテ居リマスルガ故ニ、政府モ尙又實際ヲ取調ベ地方廳ヘ問質シテ見タ所ガ、即チ昔ノ舊慣ガ其通デアルト云フコトニ就イテ、其後第三期デゴザリマシタカ、政府ガ此案ヲ提出セラレマシタ時分ヨリ、今日ノ通ノ原案ニ爲ッテ居リマスルノデゴザイマス、サウシテ小西君ガ今日ニ爲ッテナセ此政府案ニ御反對ナサルカト申シテ見マスルト、茲ニ一ノ妙ナ譯ガゴザイマス、此寒川郡ト申ス中ニ長尾村ト云フノガアリマス、其長尾村ト申ス處ニ今郡役所ガアリマス、小西君ハ即チ長尾村ノ居村ノ御方デアアルノデゴザイマスデ、此寒川ト三木、山田ト爲リマスルト、今ノ郡役所ガ少シク今ヨリハ東ノ方ニ位置ハ自然ト轉ゼナケレバナラヌ、前ノ地形ニ爲リマス……矢張三郡ヲ纏メテ真中ニ位置ヲ占メヌト、郡役所ノ位置ガ變リハセヌカト、大變此長尾村ノ人ガ心配シテサウシテ請願書ヲ出サレタノデゴザイマスルガ、此外即チ合併セントスル大内郡ナリ、寒川郡其他ノ村々ノ者ハ決シテ請願書ヲ出サヌノデアアル、況ヤ三木郡ハ無理ニ其以外ノモノヲ引附ケラレタ時分ニ於テハ、迷惑千萬デアルト陳情委員ガ出テ居ル、タツタ一村若クハ其近傍ノ人ガ同意シタカラト云フテ、數郡ノ利害ニ涉ルコトヲ左右シタナラバ、誠ニ不都合ナコトニ爲ル、ツレデ小西君ハ先程一時ノ感情デハ出來ヌコトデアアル、永遠ノ利害ニ關係スル事デアルト言ハレタガ、私モ其通ノ感シヲ持ッテ居リマスル、即チ今度ハ身體ガ一ツニ爲ッテ財產マデ一ツニシテ、即チ法人ト云フ身體ニ

爲リマスルモノヲ、唯地方税ノ都合デ郡役所ヲ一ツ減ズト云フ結果デ、唯今ノ如キ有様ニ爲ッテ居ルモノヲ、之ヲ直チニ郡ヲ廢シテシマツテ其身體ヲ以テ法人ヲ作り出サウ、三郡ト云フ一ノ身體ニシヤウト云フノハ餘程無理ナ事デゴザリマス、若シ斯ノ如キ事ヲシタナラバ、三木郡ト申スモノヲ無理ニ茲ニ入レル、即チ小西君ノ修正ニ依ッテ之ヲ籍メルト云フテモ、三木郡デハ一人半人モ同意スル者ハゴザイマセヌ、大葛藤ヲ生ズルニ相違ゴザリマセヌ、若シ其請願ガ三木郡ヨリ——若シ今度小西君ノ御修正ニ爲ル處ハ三木郡ガ希望デアルト申スコトデアリマスルナラバ——一箇村デモ申スモノガアレバ格別、今ノ通三郡合併ヲ宜イト申スモノガ一部デモアレバ、其端緒ヲ見ルコトガ出来マスルガ、決シテ一人モゴザリマセヌ、小西君ハ三木郡ヘ……三木郡アハゴザリマセヌ山田郡ヤ、三木郡デアアル——三木郡ト云フ所ヘ往ッテ頻ニ説諭シタト云フコトデゴザリマスガ、御説諭ハ如何ニシテモ、此三木郡ハ決シテ承知致サヌノデゴザリマス、事實右ノヤウナ次第デゴザリマスルガ故ニ、此原案通相成リマセヌト、郡ノ外ニ郡ヲ又茲ニ擔ギ出ス、山田郡ト一緒ニスルト云フ別ナ事ガ此所ニ出来テ來マス、サウシテ舊慣ニ背イタコトニ相成リマス、サウシテ同意シナイモノヲ無理ニクツ附ケマシテ、サウシテ法ノ上カラ縛ッテ一緒ニスルト云フコトハ、決シテ私ハ事實ニ於テ利害ヲ異ニシテ居リマスカラ、出来得ラレルモノデナイト存ジマスルノデゴザリマス、此事ハ地方ノモノデ申上ゲマセヌケレバ分リマセヌカラ、私ハ此一言ヲ申上ゲデ置キマス、即チ各郡選出ノ縣會議員ガ同意ヲ致シテ、ウレカラ各代議士ガ悉ク連署ヲ致シテ、此原案ノ通ナラナケレバナラヌト云フコトヲ、即チ明治二十三年ニチャント其筋ヘ申立テ、居リマスカラ、今更小西君ガ御喋々ナサッタニモ拘ラズ、居村ノ郡役所ノ存廢位坏デ、香川全體ノコトヲ動スコトハ少シク穩當ヲ缺キハ致サヌカト思フ、私ハ即チ此議案ノ通確定アラシコトヲ希望致シマス

(「討論終結」ト呼フ者アリ)

(政府委員内務書記官木内重四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(木内重四郎君) 此事ハ三木、山田兩郡殘ラズノ希望ニ依ッテ第一議會ノ委員會ニ於テモ修正ニ爲ッテ、其修正ニ基イテ第二議會ニモ提出シ、又此度モ提出シタノデゴザイマス、想フニ是ハ小西君ノ外ハ皆原案ノ賛成者カト思フテ居リマス

○小西甚之助君(百二十七番) 辯明致シマス

(「討論終結」ト呼フ者アリ)

○小西甚之助君(百二十七番) 人ヲ陷レルノ甚シモノデゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 討論終結ガ問題ニ爲ッテ居リマス

○小西甚之助君(百二十七番) 辯明ハ是非、私ハ修正案ノ提出者デゴザイマスカラ、無實ノ事バカリヲ申立テルカラ、是ニ對シテ辯明ハ是非シナケレバナラヌノデアアル

○議長(楠本正隆君) 討論終結ニ同意ノ諸君ハ起立
起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ討論ハ終局ト爲リマシタ——小西君ノ修正説ヨリ決議ヲ採リマスル、小西君ノ修正ハ三箇所ニ在リマス、此附則ノ二十年ト云フコトハ別ニ爲ッテ居リマスカラ、是ハ別段ニ決議ヲ採リマス、今ノ一項、二項ニ就イテ決議ヲ採リマス、小西君ノ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立
起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマスル、三項、四項、五項ハ原案ノ通異議ナシト認メマス、因テ原案通決シマス、附則ノ二十九年ト云フ修正説——決議ヲ採リマスル

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 御動議ガナケレバ修正案ニ決シヤウト思ヒマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ附則ハ小西君ノ修正説ノ通ニ決シマス——直チ二三議會ヲ開クニハ御異議ナシト認メマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 即チ直チニ二三議會ヲ開キマス

第四 香川縣郡廢置法律案(政府提出)

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ該案ノ確定ヲ報ジマスル

○早川龍介君(二百十一番) 昨日此唯今第四ノ議案ガ結了致シマシタ以上ハ此次ハ第五ニ爲ル譯デ、昨日前後ニ掲ゲマシタ所ノ議案ハ……

○議長(楠本正隆君) 一寸暫ク——次ハ日程ノ第五、明治二十七年法律第二十號改正法律案、第一議會、朗讀ヲ省キマス

第五 明治二十七年法律第二十號中改正法案(首藤 第一議會
陸三君外二十八名提出)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參考ノタメ茲ニ掲載ス)

明治二十七年法律第二十號中改正法律案

第一條中「明治二十九年九月十日太政官布告藩制施行」ノ十七字ヲ「王政一新布告」ノ六字ニ改メ「同」ヲ「明治」ニ改メ「家祿賞典祿ヲ沒收セラレ」ノ下ニ

「明治二十二年勅令第十二號ニ依リ大赦ヲ與ヘラレ」ノ二十二字ヲ插入シ

「本法施行ノ日ニ於テ」ノ九字ヲ削ル

第三條中「國事ニ關スル」以下「證明書ヲ受ケ」ニ至ル五十九字ヲ「大赦ヲ受ケタル證明書ヲ以テ」ノ十三字ニ改メ「本法施行ノ日ヨリ」ヲ「明治二十九年四月一日」ニ改メ「三箇月内ニ其ノ」ノ下及「求メヌ又ハ」ノ下「認定」ノ

二字ヲ削ル

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○議長(楠本正隆君) 早川君ニ申シマスガ、昨日ハ家祿賞典處分法案ノミ
ガ、東尾君ノ動議ニ依ッテ十八名ノ委員ニ付託セラレマシタノデ、此明治二十
七年法律第二十號ノ改正法律案ハ昨日ハ議題ト爲リマセナンダノデアリマス
○早川龍介君(二百十一番) 多辯ヲ要スル必要モゴザイマセヌガ、實ハ昨日
木員ハ二箇ヲ併テ一ノ委員ニ付託スルト云フコトヲ申シタノヲ、或ハ議場ノ
喧噪デアッタメニ、議長ガ御聽損ヒニナッタカト思ヒマスガ是ハ此處デ議
シマセズ、昨日ノ委員ニ併セテ付託ニナルコトヲ希望致シマス

(異議ナシ)ト呼フ者多シ

(政府委員大藏省國債局長會根靜夫君演壇ニ登ル)

○政府委員(會根靜夫君) 極簡單ニ申上ゲマス、本案ニ對シマシテハ政府ハ
絶體的ニ不同意ヲ表シマス、既ニ昨日ノ家祿賞典處分法案ガ委員ニ付託セラ
レマシタデ、ドウデ此案モ委員ニ御付託ニナリマスナラバ、詳細ノ事ハ尙ホ
委員會ニ於テ辯明致シマスカラ、長イコトハ申シマセヌ、唯簡單ニ反對デア
ルト云フ所以ノ要領ヲ一言申上ゲテ置キマス、此本案ニ政府ガ不同意ヲ表ス
ル所以ト申スモノハ、是ハドウアツテモ政府ハ施行スルコトノ出來ヌ法律ト
見テ居ルノデアリマス、ナゼ執行スルコトガ出來ヌト申シマス、諸君モ御
承知ノ通、此藩制施行以前ト申スモノハ、賞罰ニ依ッテ其祿ヲ與奪スル權限
ト云フモノハ各藩ノ藩主ニ屬シテ居リマシタニ依ッテ、今日ニ至ッテ之ヲ取
調ベヤウニモ記録モアリマセズ、又當不當ヲ調査スル其手段モ付カヌデア
リマス、又此提出ニ爲リマシタ法案ノ理由ヲ讀テ見マスルノニ、既ニ一昨年
ノ法律第二十號、此法律第二十號ヲ協贊ニ爲リマシタ趣意ニ就イテ見マシテモ、
政府ガ同意スルコトノ出來ヌト云フ所以ガ明瞭ニ分ルデアリマス、今回提
出ニ爲リマシタ理由ニ書イテアルヤウナ趣意デ、政府ハ二十號ノ法律ヲ提出
致シマシタノデハナイノデアリマス、貴衆兩院ニ於キマシテモ、定テ政府ヨ
リ提出致シマシタ理由ト云フモノハ是認セラレマシテ、ソレニ依ッテ御議
決ニ爲ッテ居ルコト、信シマス、シテ見マスルト云フト、最早當議院ニ於テ
ハ政府ガドウアツテモ藩制施行ノ以前ニ溯ッテ、此法律ヲ執行スルコトハ出
來ヌト云フ所以ハ如何ニモ明瞭ニ分ッテ居ルデアリマス、定メテ御記憶ニ
モナッテ居リマセウガ、念ノタメニ明治二十七年法律第二十號ヲ政府ガ提出
シマシタ理由書ヲ、唯今本員ガ朗讀致シマス

明治九年太政官第八號布告實施以後ノ國事犯罪者ナル者ハ其ノ處分ノ祿
制廢止ノ以後ニ係ルヲ以テ祿秩ヲ沒收セラ、コト無ク國事犯罪者ナルモノ
ハ祿制廢止以前ニ係ルヲ以テ祿秩ノ處分ヲ受ク是レ制度ノ變更上免レサル
所ナリト雖其ノ情狀憫諒スヘキモノナシトセス依ッテ是等ノモノニ對シ臨
機特例ノ處分ヲ以テ之ヲ救済セントス而シテ藩制施行以前ニ係ル國事犯罪
者ニシテ收祿ノ處分ヲ受ケタルモノアルヘシト雖同制施行以前ニ在ッテハ
祿秩ヲ與奪スルノ權限一ニ藩主ニアルヲ以テ今日ニ於テ之カ處分ノ當否ヲ

問フヘキモノニ非サルノミナラス還タ之ヲ推究スルノ途無キナリ依テ本法
ノ施行ハ之ヲ法律案ニ掲クル限域ニ止ムルモノナリ

斯様デアリマス、是ハ政府ヨリ法律第二十號ニ就イテ附ケテ出シマシタ理由書
デアルノデアリマス、シテ見マスルト、諸君ニ於テモ此理由書ヲ是認セラレ
マシテ、サウシテ、御協贊ニ爲ッテ居リマスコトハ認メマス、シテ見マスルト、
今日ニ於テ此案、即チ今問題ト爲ッテ居リマス法案ハ、ドウアツテモ實施
ガ出來ヌト云フ所以ノ趣意ハ明瞭ニ分ッテ居ルト信シマス、是レ即チ政府ニ
於テ絶對的ニ反對スル所以デアリマス

(委員付託)ト呼フ者アリ又發言ヲ求ムル者アリ

○議長(楠本正隆君) 委員付託ノ動議ガ成立ッテ居リマス、昨日ノ家祿ノ處
分法案ヲ付託セラレタル委員十八名へ、該案モ共ニ付託スルト云フ早川龍介
君ノ動議

(異議ナシ)ト呼フ者多シ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メマス、因テ早川君ノ動議ノ通決シマ
ス次ハ、第六ハ、輸入羊毛海關稅免除法律案第一讀會、朗讀ヲ省キマス

第六 輸入羊毛海關稅免除法律案(松尾寬三君外七 第一讀會)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

輸入羊毛海關稅免除法律案

外國ヨリ輸入スル羊毛ハ明治二十九年四月一日ヨリ海關稅ヲ免除ス

(松尾寬三君演壇ニ登ル)

○松尾寬三君(百五十五番) 私ハ羊毛海關稅免除法案ニ就キマシテ、提出者
ノ一人トシテ、聊カ提出ノ理由ヲ辯明致シマス、既ニ提出ノ理由書ニ於テ、既
ニ御承知ノ事デゴザイマスルカラ、餘リ詳細ノ御話ハ致シマセヌガ、聊カ此
今日ニ於テ最モ此法ノ急ナル次第ヲ聊カ御話ヲ致シタイト存シマス、抑、方今
ノ我國ノ事態ニ於キマシテハ、殖産、工業、即チ生産物ヲ増サナケレバナラ
ヌト云フコトハ、今更辯ヲ俟タナイ話デゴザイマスルガ、就中此貿易ト云フ
上ニ於キマシテハ、最モ注意ヲ致サナケレバナラヌ事柄ト信シマス、而シテ
其貿易ト云フ上ニ於キマシテハ、成ルベク未製品ヲ我國ニ輸入シ、即チ是ニ
施工シテ以テ精製品ヲ外國ニ輸出スルト云フコトニ最モ努メナケレバナラヌ
コト、存シマス、而シテ我國ノ有様ハ如何ト申シマスルニ、年々歳々生活ノ
度ハ高クナリマスルニ從ヒマシテ、毛織物即チ羅紗ト云フモノ、需用ハ年々
歲々増加スルト云フコトハ、諸君既ニ御承知デゴザイマセウ、其比較ヲ申シ
マスルト、年々明治初年以來二割三割ノ増加ヲ致シマシテ、既ニ昨年ノ如キ
ハ最モ増加ヲ致シマシテ、殆ド一千万圓以上ノ輸入ト爲ッテ居ルノデゴザ
イマス、斯ノ如キ多數ノ輸入ヲ致スモノニ對シテハ、之ガ輸入ヲ防ギ、成ルベ
ク我國ニ於テ之ガ製造ヲ致サナケレバナラヌト云フコトハ、道理ノ觀易キ話

デゴザリマスルガ、退イテ我國ノ毛織工業ノ有様ヲ見マスルニ、未ダ誠ニ微
微タルモノデアリマシテ、漸ク官立製造所ヲ除ケマシテ、我國ニ於テ製造ス
ル所ノモノガ二十六年度ニ於キマシテ七十萬圓餘、二十七年ニ於テ八十七
萬餘、昨年度ニ至ッテ漸ク百十九萬圓位ノ製造高ニ爲ッテ居ルノデゴザイマ
ス、併ナガラズノ如ク二十六年度以來、昨年マデノ間ニ於テ年々歳々幾分ノ増
加ヲ爲シタト云フモノハ、我國ノ此毛織工業ニ適當デアルヤ、不適當デア
ルヤト云フコトニ於キマシテハ、必ズ適當ナ事業ト云フコトハ、是ヲ以テ徵ス
ルニ足ル話デゴザイマス、然ラバ此製造ヲシテ益々盛ンナラシメテ、以テ他
ノ一千萬圓ノ輸入ヲ防グト云フコトハ、最モ今日ノ急務デゴザイマセウ、就
中昨年戰勝以來、我國ノ工業ハ日ニ月ニ勃興シテ居リマスル、中ニモ此毛織
工業ノ如キモ進歩致サントシツ、アルノデゴザイマス、既ニ御承知デモゴザ
リマセウ、彼ノもすりんと云フ如キモノハ、此毛織輸入品ノ中ノ最モ重ナル
モノデゴザリマス、彼ノもすりん會社ノ如キモ、大阪或ハ當地ニ於テ起サン
ト致シテ居リマスガ、是等モ未ダ我國ニ於テ始テ起ス事業デゴザイマスルガ
故ニ、彼ノ紡績事業ノ如ク、或ハ其他ノ事業ノ如ク、或ハ鐵道ノ如ク、株主
其他モ喜デ應募スルト云フヤウナ有様デナイノデゴザイマス、漸クニ其事ニ
熱心ナル者ガ此必要ヲ感シテ起サントシツ、アルノデゴザイマス、然ルニ此
事業ハ我國ニ於テ最モ必要ニシテ、且ツ將來有望ナモノト云フコトハ、彼ノ
原料品タル羊毛ノ如キ、歐羅巴諸國ニ於テ決シテ自國ニ於テ生産スルモノデ
足ラナイノデ、矢張濠洲其他ヨリ仰イデ居ルノデゴザイマス、其濠洲其他ニ
仰ギマスルノハ、我國トハ大變ニ海上ノ哩モ違ヒマスルシ、又第一ニ是ニ必
要ナル所ノ工賃ノ如キハ、我國ト歐羅巴ト比較シテハ如何バカリノ差デゴザ
イマスカ、是ニ依ッテ考ヘマスルニモ、我國ハ工賃ガ安イ、又原料ヲ取リマ
スル所ノ買入モ安イ、而シテ我國ノ最モ巧ナル所ノ此工業——手業ヲ致ス所
ノ最モ巧ナル所ノ事業デゴザイマスカラ、是ヲシテ益々將來ニ獎勵シ、且ツ
事業ヲ起サシメタナラバ、彼ノ棉花紡績ト同ジク、非常ナル進歩ヲ爲シテ、
遂ニハ一千萬圓ノ輸入ハ防遏スルノミナラズ、我國ヨリシテ南洋諸島、
支那、朝鮮ニ向ッテハ、此毛織物ヲシテ輸出品ノ重ナルモノニ爲ルト云フコ
トハ私ハ信ジテ疑ハザル事業ト信ジテ居リマスル、然ラバ此業ヲシテ如何ナ
ル手段ヲ以テ發達セシムルヤト申シマスレバ、如何ニ致セ外ニ是ニ獎勵費ヲ
與ヘルト云フヤウナコトハ、到底出來得ザル事デゴザイマス、故ニ此原料品タ
ル所ノ羊毛——此羊毛ヲシテ我國ニ輸入スルコトニ成ルベク便利宜ク、成
ルベク容易ニ我國ニ輸入スルコトヲ得セシメタナラバ、僅ナ海關稅ト雖モ、
其免除ノタメニ大ニ此業者ハ助ッテ行クノデゴザイマス、斯ノ如キ事業ハ固
ヨリ創業ノ際ハ容易ニ利益ヲ見ルコトハ出來マセヌノデ、年々逐フテ之ヲ始
テ利益ヲ得ル事柄デゴザイマスカラ、初ノ間ハ成ルベク國家ハ是等ニ對シテ
ハ、便利ヲ與ヘ得ラル、ダケノコトハ與ヘテヤラナクチャナラヌト云フコト
ハ、固ヨリ申スマデモナイ話デゴザイマセウ、ソレ故ニ此羊毛海關稅ヲシテ

免除致サシメタナラバ、此業ノ發達上大ニ獎勵ノ一端ニ爲ラウト云フ所ヨリ
此法案ヲ提出シマシタ次第デゴザイマス、今後此原料品ノ第一ノ生産地タル
濠洲、彼ノ國ハ御承知ノ如ク、我國ニ最モ得意ノ國ト看做サナケレバナラ
ヌ、是ヨリシテ既ニ可決ニ爲リマシタ所ノ彼ノ航海獎勵等ガ行レマシタトキ
ニハ、彼ノ南洋諸島、即チ濠洲ニ向ッテノ貿易事業ト云フモノハ餘程進ムデ
アラウト信ジマス、然ルニ我國ヨリ濠洲ニ輸出スル所ノ雜貨其他ノ物ヲ持
テ行キ、向ヨリ此羊毛ヲ搭載シテ參リマスルト云フヤウナ便利ニナリマスレ
バ、我國ノ貿易、即チ冒頭ニ御話申ス所ノ貿易ノ上ニ餘程ノ影響ヲ及スコト
ト信ジマスルガ故ニ、此法案ハ速ニ御贊成アラント希望致シマス、最早此
法案ニ就キマシテハ、諸君モ御贊成デアラウト云フコトヲ信ジマスル、曾テ
先日可決ニ爲リマシタ所ノ彼ノ棉花輸入免除デサヘモ速ニ可決ニナツタ第
デゴザリマシテ、アレト其理由ハ同ジデゴザイマスルガ、アレヨリモ一層此
法案ハ最モ急ナルモノト云フコトハ、棉花ノ如キハ既ニ其節モ議論ノアリマ
シタ如ク、紡績事業ハ非常ナ發達ヲ致シタコトデアッテ、アレガ彼ノ免除ノ
タメニ忽チニ尙ホ勃興スルト云フコトハゴザイマセヌ、併ナガラ此羊毛ノ如
キハアレトハ違ヒマシテ、未ダ振ハザル今日デゴザイマスルガ故ニ、之ヲ免
除スルト云フコトハアレヨリモ最モ急ナルモノデゴザイマス、而シテ尙ホ此海
關稅ト云フモノハ、漸ク昨年度ノ稅ガ何程アルカト申シマスルト、僅ニ五萬
圓餘デゴザリマス、國庫ノ上ニ響キマスル所ノモノハ僅ニ五萬圓ニ過ギナイ
話デゴザイマス、而シテ其五萬圓ノ輸入稅ヲ納メテ居リマス中ニハ、官設製
造所即チ彼ノ羅紗製造所ニ於テ使用致シマスルモノガ、殆ド今現ニ輸入シテ
居リマスモノ、半バツ占メテ居リマスノデゴザイマス、故ニ官設製造所ニ於
テモ是ダケノ免除ノタメニ、羊毛ヲ安ク買ヒマスルト云フ便利ガアリマスガ、
國庫上ニ響キマスル所ハ僅ニ三萬圓内外ノモノト思ヒマス、斯ノ如キノ事柄
デゴザイマスルカラ、本會ニ於テ速ニ議決セラレンコトヲ希望致シマスノデ
ゴザイマス、最早本議會モ切迫シテ居リマスルカラ、之ヲシテ相當ノ手續ヲ經
マシテ貴族院ニ回シマスル間ニ、或ハ貴族院ニ遲滯スルト云フヤウナ虞レモ
聊カナキニシモ限リマセヌカラ、仰ギ願ハクハ棉花輸入稅ト同ジク、格別審
査ヲ要スルマデノコトハアリマスマイカト私ハ信ジマスカラ、ソレ等ノ手數
ヲ省キ確定セラレンコトヲ望ミマス

○吉本榮吉君(八十二番) 議會ヲ省略シテ即決ヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 吉本榮吉君ノ議會省略ノ動議ハ御異議ナシト認メマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

輸入羊毛海關稅免除法律案

確定議

○議長(楠本正隆君) 即チ議會ヲ省略シテ決議ヲ採リマス——該案同意ノ諸
君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ該案ノ確定ヲ報シマスル——次ハ日程ノ第七ニ進ミマスル、大阪府、兵庫縣境界變更法律案——箕浦勝人君

第七 大阪府兵庫縣境界變更法律案

第一讀會ノ續(特別委員)

○箕浦勝人君(百四十二番) 極テ簡單デアリマスカラ此處カラ述ベマス、委員會ニ於キマシテハ中野廣太郎君ノ提出ノ案ヲ可決スベキモト多數ハ決シマシタ、勿論國ノ行政ノ上カラ申セバ左程デアリマセヌガ、免角地方ノ事情ニ立入ッテ見ルト、ナカノヤカマシイノデアリマス、就イテハ一方ノ少數者ノ意見ハ濱田儀一郎君ヨリ、多數ノ方ノ意見ハ中野廣太郎君ヨリ述ベラレハ積デアリマスカラ、本員ハツレダケ御報道申上ゲテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 少數者ノ意見ガアリマス——濱田儀一郎君

(濱田儀一郎君演壇ニ登ル)

○濱田儀一郎君(二百八十三番) 諸君、本案ニ對シマシテ私ハ反對ノ即チ少數者ノ意見ヲ述ベマスルデゴザリマス、此境界變更ナンゾハ唯一箇年ノ事業ノ費用ヲ議シマスルト違ヒマシテ、餘程鄭重ニ公平ニ議セナケレバナラス、故ニ私共ハ第一人民ノ希望如何、第二人情習慣、第三地理ノ便否及經濟ト云フ、此三段ニ分チマシテ意見ヲ述ベマス、此人民ノ希望如何ト云フ此事ニ就キマシテハ、最初私共モ是ニ同意ヲシテ居リマス、ツレハ大阪府ノ方カラ提出サレマシタ縣域變更ヲ要スル理由ト云フ書面ト圖面トヲ見マシタコトデゴザリマス、此書面ヲ見マスルト、兵庫縣ノ大字三箇村ハ大阪ヘ編入スルノヲ希望シテ居ルヤウニ見エマスケレドモ、實地ニ就イテ調べマスルト大ニ是ト反對シテ居リマス譯デゴザリマス、其反對スル譯ハ此書面ヲ最初一時兵庫縣ノ方モ同意シタサウデゴザリマスガ、ツレハ明治二十五年ノ事デゴザリマス、其後大阪ヘ合併スルノ否ヲ悟リマシテ、此三大字ハ反對運動ヲ致スコトニ爲リマシタ、豫テ是ニ同意シテ居リマス者モ皆取消ヲ致シテ居リマス、然ルニ此大阪ヨリ出サレマシタ縣域變更ヲ要スル理由ト云フ中ニ、矢張兵庫縣ノ東谷村ノ中ニ黒川、横路、國崎ノ三大字ノ數名連署ヲシテ居リマス、是ガ全ク誤デゴザリマス、村會ニ於テ是ニ反對ノ決議ヲシテ大阪ヘ取消ヲ申込ンデ居リマス、唯今申シタ理由書ニハ明治二十九年二月トアリマスガ、明治二十九年二月ニハ斯様ナ書面ヲ認メヤウ答ハ決シテゴザリマセヌ、是ハ偽書タルコトハ判然シテ居リマス、其證據ヲ舉ゲマスルト、黒川村ノ總代ニ本射文右衛門ト申ス者ハ此村ニ一人モアリマセヌ、其次ニ西富榮一ト書イテアリマスガ、コンナ者モ一人モアリマセヌ、小笠原萬右衛門是モ決シテアリマセヌ、此三名ハ此村ニ無イ者ノ名ヲ書イテアリマス、其他甚シイノハ佐藤源四郎ト申ス者、是ハ二十八六月ニ失踪シテ居リマス、失踪ノ屆濟ノ者ガ……○和田彦次郎君(二百五十九番) 唯今ハ少數者ノ意見デアリマスガ、少數者ノ意見ニ就イテ是非ハ暫ク置キマシテ、斯ウ云フ事ハ將來ノ慣例ニモ爲リマス、少數者ハ何名ノ少數者デゴザリマスガ

○議長(楠本正隆君) 少數者ノ意見ハ定規ノ人數ガ少シ足リマセヌ、是ハ大キニ事ノ行違カラ生ジテ居リマスルカラ、此辯明ハ取消シマスル、即チ通告ニ從ヒマスル——鹿島秀賢君

○小室重弘君(八十八番) 本員ハ反對ノ演說ヲ致シタイ

○藤田達芳君(六十四番) 議長、質問ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 諸君ヘ大キニ調査ノ不行届ヲ重ネテ御報道ヲ致シマスル、出席員ノ數ニ附キ報告ガゴザイマセヌデシタカラ、議長ハ當然出席委員ハ九名ト認メマシタ故ニ、一人ハ人數ガ不足ト認メタデゴザイマシタガ、能ク取調ベテ見マスルト、出席委員ハ六名デ其中二名ノ反對デアリマス、即チ出席委員三分ノ一ニ達シテ居リマスカラ、更テ少數者ノ意見ノ辯明ヲ促シマス

○前川慎造君(二百四番) 少數者ノ意見ト申スノハ、確カ其中二名ト云フノハ委員長モ加ヘテアルヤウデスガ、誰ノ二名デゴザイマスガ

○議長(楠本正隆君) 委員箕浦勝人君、委員濱田儀一郎君

○前川慎造君(二百四番) 委員長ガ少數者ノ中ニ加ッテ、始テ少數ノ意見ト云フモノガ成立ツト云フコトデスガ、委員長ト云フモノハ即チ議事ガ議論ガ相半バシタ時ニ於テ始テ加ルノデ、サモナイ時ハ委員長ト云フモノハ投票權ノナイモノデアアル、然ルニ其議事ノ時ニハ少數ノ意見ト云フモノハ成立ッテ居ラヌニモ拘ラズ、其議事ノ後ニ委員長ガ加ッテ、サウシテ少數ノ意見ヲ報道スルト云フノハ、是マデニ慣例ガゴザイマスガ

○議長(楠本正隆君) 前川君ニ申シマスガ、委員長ノ報告ハ委員會ヲ代表シタルモノデアアル、委員長ガ一委員トシテ少數者ノ意見ヲ提出スルコトハ、少モ差支ナイ——是ハ先例モアル事デアアルカラ差支ナイト思ヒマス

(「差支ナシ」ト呼フ者アリ)

○濱田儀一郎君(二百八十三番) 續キマシテ意見ヲ述ベマス、國崎ノ總代ノ佐藤源四郎ト云フノハ、前申シタ通二十八六月ニ失踪シテ未ダ復歸シナイ者デ之ヲ記名シテアリマス、全ク是ハ問題デアラウト信ジマスル、サウシマスルト此大阪ヨリ出サレテ居ル所ノ書面ト云フモノハ無効ト私共信ジマス、尙ホ圖面ニ於キマシテモ餘程誤ガアリマスル、此圖面ナリ理由書ナリハ大阪ヨリ御配付シテアリマセウケレドモ、是ハ決シテ相當ノモノデアリマセヌカラ、其邊ヲ御承知ヲ請ヒマス(「ノウウ」ト呼フ者アリ)是ハ餘程誤ヲ生ジマスルノデ、私共モ此書類ト圖面ニ依ッテ一度ハ同意ヲ表シ來シタケレドモ、實際ヲ調べマスルト大變ニ違ガアリマス、此取消スノハ私ノミナラズ、議長ヨリ報道ニ爲リマシテ、諸君ニ於テモ御聽ノ通、之ヲ取消シマシタノハ書面ナリ圖面ナリノ誤ッテ居ルニ原因シテ居ルノデアリマス、ツレカラ此人民ノ希望如何ト云フコト、此事ニ就キマシテハ村會ヲ開キマシテ、本月七日ニ全會一致ヲ以テ是ニ反對スル決議ヲシテ居リマス、此事ハ委員會デ私モ述ベマシタガ、中野君ノ御說ニ、ツレハ或ハ此大阪ノ方ニ移ル三大字ノ議員ガ出席シナイノデハナイカト云フ御說ガゴザイマシタガ、其後調ベテ見マスノ

ニ決シテサウデアリマセヌ、此内二名ハ三大字ノ者デアル、西富榮一、本射
交太郎此二人ハ出席シテ居リマス、十二名ノ中デ三名ノ闕席者ハ他ノ部落ノ
者デ、出席者八名ハ正當ノ意思ヲ以テ全會一致ヲ以テ此事ニ反對スルノ決議
ヲシマシタルデアリマス、故ニ人民ノ希望ハ、大阪ニ郡域ヲ變ヘルト云フコト
ニ反對シテ居ルコトハ判明シテ居ルデアリマス、次ニ習慣ノ事デアリマ
ス、此中野君ノ言ハレルニハ、即チ委員會ノ説デゴザイマスガ、舊幕時代ニ
ハ同ジ管轄デアッタト云フコトデゴザイマスガ、決シテ是モサウデアリマ
セヌ、此黒川、横路、國崎ノ三大字ト、東谷村ノ一部落ヲ合セテ一庫村ト申
シタルデ、吉川村トハ同ジ組合デハナイ、別ノ組ヲ成シテ居ッタノデ、之ヲ以
テ見マシテモ從前ノ組ガ違フテ居ルト云フコトガハッキリ分ッテ居リマス、
其後戸長役場設置以來、唯今ノ村ト合同シマシテカラ、一モ變動ガアリマセ
ヌノデ、サウスレバ是マデノ習慣ニ於キマシテ、決シテ中野君ノ言ハレルマ
スルヤウナ譯デアアリマセヌ、需要供給ハ如何ト云フニ、是モ大阪
府ノ吉川村ニハ縁故ハアリマセヌ、需要供給ハ東成郡ノ山下町、池田町ニ
於テ需用供給ノ便ガアリマスカラ、大阪府ノ——向フデ申ス吉川村ニハ一寸
モ用ガ無イモノト云フテモ宜シイノデ、又中野君ハ委員會ニ於テ神社、寺
院、宗旨ニ於テモ同ジモノト云ハレルマスケレドモ、是モ實際大キニ違ッテ居
リマスノデ、此兵庫縣ノ方ノ三大字村ハ、一々村社ヲ有ッテ居リマス、大字
毎ニ村社ガアリマス、當ニ村社ノミナラズ、郷社モアリマス、多田村ノ平野
ニ多田神社ト云フノガアッテ、大阪ノ方トハ違ッテ居ル、又宗旨ニ於キマシテ
モ、大阪府ノ吉川村ハ眞宗デゴザイマシテ、黒川、國崎ハ禪宗デゴザイマス
ル、サウシマスレバ委員會デ中野君ノ述ベラレマシタルハ、悉ク違フテ居ル
ト云フテ宜シイト思ヒマス(ノウ)「ト呼フ者アリ」尙ホ第三地理ノ便否及
經濟ノ點、是ハ東谷村ノハ四百六十七戸、其内九十八戸ヲ割イテ大阪府ニ合
併シヤウト云フノデアリマスガ、兵庫縣ハ五百戸ヲ以テ目安トシテ町村ヲ組
織シテ居リマス、若シ四百六十七戸ノ内九十八戸ヲ引キマスルトキハ、殘
リ三百六十五戸ニ爲リマシテ、兵庫縣ノ大小村ニ爲リマス、又九十八戸ヲ割
イテ大阪ノ方ニ入レマスレバ、大阪ノ方デ五百戸ニ足ルカト云フト決シテ足
リナイ、大阪府吉川村ハ百三戸デアッテ、是ガ其大阪ノ方ノ吉川ト云フノガ、
不便ノ地デ小サイモノダカラ、大阪ガ無理ニ吉川ヲ獨立サセウト云フノデア
ラウガ、吉川村ガ獨立出來ナイナレバ、兵庫縣ノ方ニ合併スルノガ相當ト思
ヒマス、又地租稅ノ點ニ就イテハ如何ト申シマスルト、兵庫縣ノ方ハ二十四
年ヨリ二十八マデ五箇年ノ平均ヲシテ見マスルニ、一戸ノ戶數割ハ三十二
錢七厘デ、大阪ノ方ハ五十二錢五厘ト云フ少シ高イノデアリマス、サウシマ
スルト此三大字ハ大阪ノ方ニ管轄ヲ換ヘルノハ好マヌト云フコト、思フ、併
シ地租割ニ於キマシテハ、僅カ五六錢大阪ノ方ガ安イカモ知レマセヌガ、是
ハ明治二十五年六月頃ニ我兵庫縣ニハ大水ガアリマシタガ故ニ、此地租ガ
徵稅ガ重クナッタノデアリマス、ソレ故ニ五箇年ノ平均ハ斯樣ニ高クナッタ
居リマスガ、ケレドモ平年ニ比較シマストキハ、兵庫縣ノ方ガ大阪ヨリハ遙
ニ安イノデアリマス、故ニ此管轄ヲ換ヘルノハ人民ガ嫌フノデアリマス、又
其大阪ノ方ノ言ハレルマスルノニハ、地所ガ畝ヲ以テ界スル、大キニ錯雜シテ
居ルト言ハレルマスガ、地所ノ錯雜ト云フコトハ、地租改正ノ時分二十分ニ雙

方協議シテ甲ノ利トシ乙ノ害ノナイ分ハ互ニ交換シテ居ル、ソレ故ニ區域ガ
判然シテ居ル、又其郡界國界ハ必ズ川ヲ以テ境シナケレバナラヌト云フヤウ
ナ事ガアルガ、大阪ハ所謂川ヲ以テ境トスルニ、此邊ノ川ハ大キナ川デハナ
イ、常ニ水ノナイ川デアアルカラ別ニ變ッタルコトハナイ、又警察ノ事ニ就イテ
モ、大阪ノ管轄ニ爲ルト便利ト云ハル、ガ、此本村ニハ巡査駐在所ガアルカラ
別ニ合併セヌデモ差支ハアリマセヌ、又大阪ノ云ハル、ニハ此村ノ——三字
ノ村ノ幅ガ二里アルカラ不便ダト云ハレルマスガ、是ニハ端カラ端ヲ測量スル
ト或ハ二里アルカラ知ラヌガ、人家ノアル即チ人民ノ住居シテ居ル所ハ二里ハ
アリハシナイ、極僅ナモノデアリマス、ソレ故ニ習慣ニ於キマシテモ、地理
上ニ於キマシテモ、經濟ニ於キマシテモ、人民ノ希望ニ於キマシテモ、大阪
ニ合轄スルハ理由ノナイモノデアアル、兵庫ノ人民ハ蛇蝎ノ如ク思フテ居リマ
ス、因テ此意見ヲ述ベテ置キマス

○波多野傳三郎君(二百七十三番) 極詰ラヌヤウナ事デアリマスガ、當帝
國議會殊ニ衆議院ノ體面ノタメニ濱田君ニ御聽キ申シマスガ、此法案ハ濱田
儀一郎君ガ提出者デゴザイマスガ、其當時ハ如何ニモ尤ト思召シタガ、段々
色ノ事ヲ考ヘテ見ルト、惡ルイト云フコトデ御改メニナッタト云フコトデア
ルガ、サスレバ過ッテ改ムルニ憚ラナイノハ結構デアアルカラ已ムヲ得ヌト思
ヒマスガ、始カラ今ノヤウナ少數者ノ意見ヲ出スト云フヤウナ譯デアアルナ
ラバ、此衆議院議場ニ提出者ガ少數意見ト云ッテ反對ノ意見ヲ述ベルト云フコ
トハ、隨分將來ノタメニ慎ムベキ事デハナイカト思ヒマスカラ、此事ヲ一寸
御尋申シマス

○濱田儀一郎君(二百八十三番) 私ガ先刻述ベマシタ通、最初兵庫縣ノ者ガ
數人記名シテ居ル、ソレハ前ニ申述ベマシタ通其書面ガ——即チ理由書ガ大
阪カラ出サレタガ、兵庫縣モ同意シテ居ル、其人民ガ大阪ニ變更スルコトヲ
望ムヤウニ爲ッテ居ッタカラ、即チ其書面ヲ見テモ大阪ニ往クノガ宜カラウ
ト思フカラ、私ノミナラズ、其他數名ノ者ガ同意シテ居ル、所ガ其後村會ノ
決議ヲ以テ大ニ反對スル、又大阪ノ方ハ取消ヲシタト云フコトガ判明シタ、
サウスルト必ズ前ノ通ニシナケレバナラヌト云フコトハナイカラ、今日ノ通
ニ取消ヲシタルデアリマス

○早川龍介君(二百一十一番) 此村ハ有名ナル能勢ノ妙見ノ近傍ト考ヘマス
ガ、大阪ノ方ガ地勢ノ順序カラ云ヘバ便利デアルト思フ、兵庫ニ行クニハ大
阪ヲ回ッテ行クノガ都合ガ宜イノシヤアナイカト思フガ、サウデアアリマセ
ヌカ
○濱田儀一郎君(二百八十三番) 私ノ言フハ、人民ノ希望其他種々ノ便利ヲ
以テ先刻述ベマス通、能勢ノ妙見ヲ以テ目的トハシテ居リマセヌ
○議長(楠本正隆君) 通告ニ從ヒマス、石田貫之助君ハ該案ノ賛成者ヲ取消
スコトヲ申出デラレマシタカラ報道致シテ置キマス、小室重弘君……
○草刈親明君(二百三十一番) 濱田君ニ御尋シタイガ、濱田君ハ提出者ニ爲
テ居ルガ、御取消ニ爲ッタル譯デアリマスカ
○議長(楠本正隆君) 全ク取消ニ爲ッテ居ル

○草刈親明君(二百三十一番) 然ラバ本員モ賛成ヲ取消シマス、大阪兵庫ノ
全部提出者ト爲ッテ居ルカラ、不都合ハナイモノト思フテ賛成シテ置キマシ

タガ、然ルニ今日ニ至テ兵庫縣ノ方、ガ反對セラル、以上ハ、私ノ考ニハ矢張從來ノ儘ニ致シ置クガ適當ト思ヒマスカラ、賛成ヲ取消シマス

○小室重弘君(八十八番) 私ガ此……

○藤田達芳君(六十四番) 提出者ガ反對スルト云フコトニ爲ルト、本員共賛成ニ苦ミマスガ、本員ハ是ニ對シテ政府ハドウ云フ意見ヲ持ッテ居リマスカ、將來ノ利害休戚ニ關シマシテ、政府ノ見ル所ハ何レニ在ルカ、之ヲ伺ヒ

タイ

○議長(楠本正隆君) 通告ニ從ヒマス

○藤田達芳君(六十四番) 政府ハドウ思フカ、答ハ出來ナイカ

(政府委員内務書記官木内重四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(木内重四郎君) 政府ハ反對ハ致シマス

○小室重弘君(八十八番) 私ハ中野君等カラ提出ノ案ニ就キマシテ、反對ノ意見ヲ簡單ニ述ベテ置キマス、全體ハ此案ハ地方ノ問題ニ關スル事デアリマス

スカラ、私共ハ細カニ其地方人民ノ言フ所、又ソレニ關係シテ居ル代議士諸君ノ御意見ヲ伺ヒ——既ニ請願委員會ニハ此案ニ反對スル請願書ヲ請願委員會

會ハ之ヲ採擇スベキモノト決シテ昨日——昨日デアリマシタガ、議場ニ報告シテアル、又其後此案ノ模様ヲ見マスルニ、真ニ奇怪ニ堪ヘナイ、何トナ

レバ提出者ノ濱田君ガ一番先キニ提出ヲ取消サレタガ一種ノ奇觀デアリマス、

スニ、更ニ賛成者ヲ取消サレタ諸君ガ、早川君、今井君、森本君其他マダアル、

私共ハ斯様ナ不確實ナモノニ就イテ、容易ニ賛成スルコトハ出來ヌモノデアリ

ザイマス、今日吾々ノ手許ニ兵庫縣ノ各町村長カラ遣ハサレタ文書、若ク

ハ川邊郡ノ縣會議員カラ遣ハサレタ文書ニ依ッテ徵シテ見テモ、此川邊郡ノ

案ハ決シテ賛成スルコトハ出來ナイモノデアリマスカラ、此案ハ御撤回ニ爲

ルコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 東尾平太郎君

(東尾平太郎君演壇ニ登ル)

○東尾平太郎君(二百八番) 諸君、私ハ風邪デ熱氣ガゴザイマスカラ、賛成

ノ要領ヲ簡單ニ述ベヤウト考ヘマス、今小室君ガ反對ノ趣意ヲ述ベラレタ

ガ、攻撃スル程ノ價值ハナイ、又少數者意見トシテ濱田君ガ述ベラレタガ、是

モ攻撃スル値ガアリマセヌカラ、此攻撃ハ致シマセヌ、此大阪府、兵庫縣

境界變更法律案ハ理由ニ書イテアリマス通、兵庫縣攝津國川邊郡東谷村ノ中

大字黒川、横路、國崎、之ヲ大阪府能勢郡吉川村ニ編入スルト云フ極簡單ナ

問題デアリマス、抑、此黒川、横路、國崎ノ三字ガ兵庫縣ノ川邊郡ノ管轄

ヲ離レテ、大阪府下能勢郡ニ編入シテ貫ヒタイト云フ希望ハ、一朝一夕ノコ

トデアリマセヌ、既ニ去ヌル明治二十五年内務大臣ニ此事ヲ建白致シマシ

タ、先キニ濱田君ハ嘗テ此理由書ニハ誣妄ノ事ガアルト辯明サレマシタガ、

私ハ確實ナル證據ヲ以テ此處デ論ジャウト思ヒマス、彼ノ明治二十五年内務

大臣ヘ出シタ建白ノ書面ハ即チ此建白書デス、此通リ三箇村ノ調印ガシテゴ

ザイマス、此時ノ大阪府下吉川村ト兵庫縣三大字トノ契約書デス、建白スル

ニ就イテ契約ガ此通シデアリマス、此通調印ガチャント揃ッテ居ル、此時ノ

請願ニ對シテ時ノ内務大臣松方氏ハ指令ヲ下シテ曰ク、町村制第四條一項ニ

依ッテ更ニ願出デヨト云フノ指令ヲ附ケテ此願書ヲ却下サレタ、町村制第四

條第一項ハ如何ナルコトガ書イテアルカト云フト、町村ノ廢置ヲ出願スルモ

ノハ、町村會ノ決議又ハ郡參事會ノ決議ヲ經テ、府縣參事會ノ決議ヲ經テ、

内務大臣ニ上申セヨト云フノガ、其趣意ニ爲ッテ居リマス、此所ハ諸君ニ訴

ヘマスルガ、町村會ノ決議ヲシマシタラバ、此建議ハ否決シタノデアリマス

ス、ソレハ事實デアリマス、反對者ノ濱田君モ言フ通、何故ニ否決シタカ

ト云フ理由ヲ簡單ニ述ベヤウト思ヒマスガ、此東谷村ハ十一箇村ヲ以テ組織

シテ居リマス、然ルニ此中ノ三箇村ガ拔ケル、八箇村ハ拔カサナイカラ村會ヲ

開イテ分離シタイガ、僅カ三人デ八人マデハ反對デアリマスカラ、ドウシ

テモ村會ノ決議ヲ經テ之ヲ通過スルコトハ餘程困難ナ譯デアリマス故ニ、

此三箇村ノ人民ハ今日マデ遺憾ナガラ此多數ノ村會議員ニ壓制セラレテ、今

日マデ默視致シテ居タ次第デアリマス、是ハ村會ニ於テモ決議ニ依ッテ

變更ガ出來ナイト云フノ理由デアリマス、又其次ニハ此三箇村ノ請願ニ依

リマシテ、大阪府會ニ於テ昨年十二月内務大臣ニ是等ノ建白ヲ致シタ事ガゴ

ザイマス、是ニ就キマシテハ先ニ濱田君ノ述ベラレタ事モゴザイマスガ、聊

カ是ニ就イテ辯シテ置キタイト考ヘマス、是等ノ事ハ地形上第一番ニ述べナ

ケレバナラヌト思ヒマスガ、地形上ノ事ハ言葉ヲ以テ述ベテモ、諸君ハ御承知

アルマイト思フ、郡廢置法律案デモ幾ラ雄辯家ガシヤベッテモ、地形ノ事ハ

分リマセヌカラ、簡單ニ地圖ヲ御覽ニ入レマス(地圖ヲ示ス)諸君、此赤ガ

大阪府管下能勢郡、黃ナルハ兵庫縣川邊郡デアリマス(笑聲起ル)ソレカラ

此川ハ川邊郡ノ一庫川デアリマス、此所ニ川ガアル、是ダケガ三字デアリ

マス、地形ハ此通別段辯論ヲ費スヨリ諸君ニ御覽ニ入レル方ガ能ク分ル、

ソレカラ又此村ノ習慣ハ、豐臣時代ハ、此三大字ハ攝津國能勢郡ニ編入シテ

アリマシタ、然ルニ徳川時代ニ於テ所領ノ都合ニ依ッテ川邊郡ニ編入サレタ

ノデ、舊トハ能勢郡ニ編入サレタ村デアリマス、舊慣古跡ヲ調ベマスレバ、

舊トハ能勢郡ニ編入シテアリマシタ、其證據ニハ今デモ神社、神社等ニ於キ

マシテハ、能勢郡吉川村ノ神社ガ皆同一ノ神社ニ爲ッテ居ル、習慣等ハ申スマ

デモナク神社祭典等ハ兵庫縣——シャゴザイマセヌ、大阪府ノ吉川村ト神

社祭典等ヲ共ニシテ居ルコトハ事實デアリマス、濱田君ノ反駁旁、述ベ

マスルガ、今此三大字ヨリ東谷村マデハ幾ラアルト云フト、平均二里以上

アリマス、然ルニ此三大字ガ大阪府下吉川村ニ編入シマスレバ僅カ四五町デ

ゴザイマス、村役場ハ是ダケノ差ガアリマス、又此三大字ヨリ兵庫縣ノ郡役

所ニ行キマスレバ五里モアリマス、大阪府ノ池田郡役所ヘハ三里デアリマス

ス、又警察分署モ其通、兵庫縣ノ廣根警察署ヨリハ五里アリマスガ、大阪府

ノ地黃警察署ヘハ僅カ三里ニ足リマセヌ、又郵便通信等ノ便利ニ於キマシテ

モ其通デアリマス、然ルニ今濱田君ガ大阪府吉川村、又兵庫縣下三村ヨリ

諸君ニ提出シマシタ理由書ハ、嘘デアルト云フコトヲ述ベラレマシタガ、決

シテ嘘デアナイ、茲ニ西富榮一ト活版屋ガ誤植シタノデアリマスガ、其活

版屋ノ誤植ヲ捕ヘテ、是ハ詐偽ノモノデアルト云フノハ實ニ慘酷ナ話デアリ

イマス、ツレカラモウ一遍諸君ニ繪圖ヲ御覽ニ入レマシガ、大阪府下ノ縣道能勢街道ナリ、丹波街道ナリ、縣道ガ二ツゴザイマス、兵庫縣ノ真中ニ挾マツテ居リマス、此縣道ノ修繕ガ更ニ出來ナイ、悉ク兵庫縣ニ紹介ヲシナケレバ此縣道ガ出來ナイ、ツレカラ此議案提出ニ就キマシテ、聊カ諸君ノ御參考マデニ述ベヤウト思ヒマスガ、此議案ニハ提出ト贊成者ノ中、大阪ハ五人、兵庫ハ六人デアリマス、即チ大阪ニ於キマシテハ中野廣太郎、秋岡義一、豐田文三郎、佐々木正久、中野治兵衛、此大阪ノ議員諸君ガ五人、兵庫縣ノ濱田儀一郎君、花木甚右衛門君、森本莊三郎君、鹿島秀賢君、石田貫之助君、櫻井勉君都合八人、斯ノ如ク最初ハ兵庫ト大阪府ト合議ノ上ニ成立ツタ案デゴザイマス、然ルニ何ガ故ニ、兵庫縣ノ諸君ハ之ヲ取消シタカ、實ニ其理由ヲ解スルコトガ出來ナイ、自分等ノ考ヘル所デハ誠ニ無定見ナ話シ、先ニハ提出者、贊成者ト爲リナガラ、今日取消スト云フノハ、無責任、無定見ノ極ト言ハナケレバナリマセヌ——御默シナサイ、議論ガアルナラバ此處ニ登ッテ御述ベナサイ——ツレデ尙ホ次ニハ、此請願書ハ三月ノ十日日ニ兵庫縣ニ出マシタガ、此請願書ニ就イテ面白イ理由ガアル、ドウ云フ理由カト云ヒマスレバ、彼ノ明治二十五年ニハ選舉干渉ト云フコトガゴザリマシタガ、是ハ干渉請願ト云フモノデゴザイマス、此事ヲ諸君ニ御説明シヤウト思フ、此請願ノタメニ兵庫縣ノ六名ガ意見ヲ變ヘタニ相違ナイ、然レバ此請願書ヲ毀シマスレバ、必ズ舊ノ通ニ贊成セラル、デアラウト考ヘマス、此請願書ハ即チ干渉請願ト云フノデス、其證據ヲ是カラ讀ミマス、是ハ兵庫縣下東谷村ノ有志者カラ手前達ニ來タ書面デアリマス、要點ダケヲ讀ミマスガ、愈々東谷村長ハ本日ヲ以テ彼ノ無法ナル村會議決ヲ縣知事並ニ內務省衆議院議長本縣選出代議士諸君ヘ夫ノ意見書ヲ添付シ差出候由傳聞仕候實ニ此舉タル一朝偶然輕卒ノ計畫ニ非ス地勢風俗習慣止ムヲ得サル實情アリ充溢セル極タルコト瞭然タルニ依リ政府ノ公平ナル處置ト諸君ノ御盡力トニ依リ必ズ成立可致事ト確信致シ一同愁眉ヲ開キ居候折柄萬一右等ノ無法ナル處置ノタメ妨害セラレ又候明治二十五年ノ如ク一朝水泡ニ歸スル事有之候テハ實ニ重々ノ遺憾ニ候間何卒右様ノ事十分御腹藏ノ上四箇村臣民多年ノ宿望百歲ノ得策ノ成立ヲ鞏固ニシ御愁省アラシム事切望仕候」ツレカラ末文ニ書イデゴザイマス「昨八日東谷役場ニハ又候引續キ村會議員ヲ召集シタリ其事由ハ兼テ上京中ナル或ル一派委員ヨリ電報アリシ爲ナリ其電報ハ都合二度ナリ初回ハ七日、午前十一時三十七分發ニテ「カミツムラ、アンシン、ヒガシダニムラ、エンキ」次回ハ同日午後七時二十五分發ニテ「ブク、タレカハヤク、ブコセ」

「ブク」ト云フノハ山家ノコトデス「右ニ就テ東谷村役場ニハ議員協議會ヲ開キ其結果兩村村長及村會議員嘉谷藤次郎一兩人今早朝ヨリ上京スルニ議決相成タル由ナリ但東谷上京者ノ目的ハ櫻井勉氏及內務大臣自由總理板垣伯本縣選出議員石田貫之助氏等有力家ニ運動スル心算ノ由ニ聞ケリ」ツレカラモウ一本アルデス（モウ宜シム）ト呼フ者アリ）都合三本證據物ガアルガ、詰ル

處中野廣太郎君ヨリ此案ヲ提出シタノデ、兵庫縣ノ縣々ニ於テハビツクリシタ、何モビツクリスルコトハナイノニ、ビツクリシテ、直チニ郡役所ニ出張シ、郡吏ト東谷村役場ヘ出張シテ、請願書ヲ早く出サナケレバ困ルカラ早く出セト云フコトデ、干渉壓制の請願書ヲ郡吏ガ集メテコチラヘ提出シタノガ此請願書デゴザイマス、斯ノ如キ不完全ナル請願書ニ依ツテ、兵庫縣選出ノ六名ノ議員ガ前説ヲ變ズルコト云フコトハ實ニ慨歎ニ堪ヘヌ次第デゴザイマス、ツレカラ先キ濱田君ハ經濟ノ事ヲ述ベラレマシタガ、是ハ聊カ辯シテ置カナケレバ困リマス、如何ニモ此三大字ガ兵庫縣ノ入費ト大阪府ノ入費ガ如何程ニナルカト申セバ、地租割ハ大阪府ガ二十三錢、兵庫縣ガ二十五錢、兵庫縣ノ方ガ高イ、戸數割ハ濱田君ノ言ツタ通兵庫縣ハ安イ、其代リニ營業雜種稅ガ大阪ガ十七圓八十六錢、兵庫縣ガ三十一圓、大阪ヨリ倍以上ニ爲ツテ居ル、ツレカラ町村稅ハ、此三箇村ヲ兵庫縣管轄ト、大阪府ノ吉川村トニ比較スレバ、兵庫縣ノ東谷村ニ比較シマスレバ、地租一圓ニ附キ三十四錢九厘デアリマスガ、大阪ニシマスレバ十四錢三厘、斯ク如クナリマスカラ、此兵庫縣三箇村ノ希望ハ多年ノ希望デゴザリマス、又先刻ノ此書面デゴザイマスガ、兵庫縣河邊郡ノ町村長カラ自分等ノ手許ヘ書面ヲ送ラレマシタガ、唯戸數割ハ兵庫縣ガ安クテ大阪ガ高イトアリマスガ、地租割、營業稅、雜種稅ヲ平均スレバ、却テ大阪府ノ方ガ負擔ガ輕イデゴザイマス、兵庫縣河邊郡ノ各町村長ノ書面デゴザイマス、此人等ノ反對スルノハ當然デアアル、例ヘバ人情トシテ河邊郡ノ方ハ一村モ減ラヌ方ガ宜イカラ、是ニ反對スルノハ當然デアアルト考ヘマスガ、詰ル所三箇村ノ人民ハ河邊郡ノ管轄ヲ離レテ、大阪府ノ能勢郡ニ編入サレタイト云フコトハ多年ノ希望デゴザイマスカラ、願ハクハ諸君、公平ノ判斷ヲセラレテ、速ニ御贊成アラシムコトヲ希望致シマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ「贊成々々」ト呼フ者アリ

○議長（楠本正隆君） 討論終結ガ問題ト爲リマシタ

○箕浦勝人君（百四十二番） 此案ノ追加贊成ト云フコトヲ報道サレタト云フコトデアリマスガ、其中ニ本員ノ名前モアツタト云フコトヲ同僚ヨリ承リマシタ、其時著席シテ居リマセナシタガ、若シ左様ナ事ガアリマスレバ、何ゾノ間違デアリマス、本員ハ少數者ノ意見ヲ提出スル位デアリマスカラ、贊成スル筈ガナイ

○東尾平太郎君（二百八番） 議長ノ手許ヘ出テ居ル追加ノ贊成ハ、皆諸君ノ自筆デアリマスカラ、勝手ニ書イタト云フコトハナイ、調ベテ見レバ分ル

○議長（楠本正隆君） 討論終結ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長（楠本正隆君） 多數、因テ討論ハ終結致シマシタ、茲ニ於テ二讀會ヲ開ク如何ノ決議ヲ採リマス、該案二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

〔多數「少數」ノ聲交、起ル〕

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス

○中野廣太郎君(二百八十五番) 異議ヲ申立テマス

(賛成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 異議アレバ記名投票ヲ行ヒマス——因テ閉鎖ヲ命ジマス——是ヨリ記名投票ヲ行ヒマス、賛成ノ諸君ハ白ニ、反對ハ青ニ必ズ記名ヲ請ヒマスル、マ、無効投票ニ爲ッテ居ルノガアリマスカラ、特別ニ注意ヲ致シマス——點呼ヲ初メマス

(町田書記官氏名ヲ點呼ス)

○議長(楠本正隆君) 開匣ヲ致シマス——閉鎖

(書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(楠本正隆君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

總數 百四十

可トスル者 五十六

否トスル者 八十三

無効 一

因テ、該案ハ二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス、次ハ第八ニ進ミマス、社寺林地保管法案第一讀會ノ續

第八 社寺林地保管法案

第一讀會ノ續(特別委員報告)

○依田道長君(百番) 本員ハ此社寺林地他日ニ讓ラレシコトヲ望ミマス、其所以ヲ述ベマスガ、此社寺保管法案ハ森林法案ニ最モ重大ナル關係ヲ有シマス、今日森林法案ノ修正案モダ見エマセヌ、或ハ之ヲ可決致ストキハ、森林法ト衝突ヲ致ス恐モアリマス故ニ、之ヲ他日ニ讓ランコトヲ望ミマス

○早川龍介君(二百十一番) 此通ニ早ク掛ッテ宜カラウト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 依田道長君ノ該案ノ討論ヲ延バスト云フニ賛成ガアリマス

(賛成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 賛成ガアレバ決議ヲ採ラネバナリマセヌ、依田道長君ノ該案ノ討論ヲ延期スルト云フ意見ニ賛成ガアリマス

(異議アリ異議アリ)ト呼フ者アリ(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 異議モアルニ依ッテ起立ニ諮ヒマス

○議長(楠本正隆君) 問題ニ爲リマシタカ

○藤金作君(二十四番) ツレデハ簡單ニ反對ノ意見ヲ述ベマス、是ハ森林法ニ關係アルヲ以テ延スト云フ御説デアリマスガ、決シテ是ハ今日議定スルモ

差支ナイ、森林法ハ既ニ十數日委員付託ニシテ漸ク決議ヲ致シマシタガ、此

社寺林地保管法案ハ、森林法ニ關係ノナイ所ハ、吾々モ其特別委員ニシテ、數

十日掛ッテ居リマシタデ、差支ナイコトニ確信シテ居リマス、既ニ其案モ決

議ヲシテ議長ニ報告ガシテアリマスカラ、最早其案モ御同シニナルデアラウト思ヒマス、ツレデ唯今ノ説ニ拘泥ナク、直チニ討論スルコトヲ希望致シマスカラ、大ニ反對ヲ述ベマス

○議長(楠本正隆君) 森林法案ト共ニ議スルヤウニ、本日ハ討論ヲ延期シヤウト云フ依田君ノ動議、右ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、因テ依田君ノ動議ハ消滅致シマシタ——委員長

齋藤良輔君(齊藤良輔君演壇ニ登ル)

○齋藤良輔君(二百九十九番) 本案ノ特別委員會ノ經過ヲ報道致シマス、特別委員會ハ二月二十八日第一回ヲ開キマシテ、其委員長ハ不肖良輔デゴザ

イマス、又理事ニハ濱田儀一郎君ガ當選ニ爲ッタノデゴザイマス、ツレカラ二

月二十九日第二回ヲ開キマシテ遂ニ三月十一日マデニ第五回ヲ重ネマシテ

ゴザイマス、而シテ修正ノ箇條ハ即チ報告書ニ在ル通ノ事デゴザイマス

ル、尙ホ是ニ就イテ一應申上ゲタイコトガゴザイマス、第一條ト、第二

條ト、第十七條ニ對シテ、聊カ委員會ノ決議ト違フタ所ガ顯ハレテ居リマス

ルニ依ッテ、是ハ其脱落ヲ挿ミマシテ、此正誤ノコトモ致シタウゴザイマス、

ドウゾ此段ヲ報告書ニ就イテ御覽ヲ願ヒタウゴザイマス、ツレハ第一條ノ此

朱書ニゴザイマスガ「農商務大臣ニ於テ其社寺ニ」ト申シマス所ニ「之ヲ」ト云

フ二字ガ脱落シテ居リマス、ツレカラ第二條ニ括弧ガゴザイマス、其「檀徒」

ト云フ字ノ上ニ「氏子」ト云フ二字ガ落チテ居リマス、ツレカラ「檀徒」ト云フ

下ニ「總代」ト云フ字ガアリマス、是ハ全ク其節削除シタデゴザイマ

ス、ツレカラ第十七條ニ「二圓以上二十圓以下」トゴザイマス、是ハ「一

ト直ッテ居リマスケレドモ、全ク是ハ「一」ト云フノハ誤リデゴザイマスカラ、

「二圓以上」ト云フコトニ爲ルノデゴザイマスニ依ッテ、此段御承知ヲ願ヒタ

ウゴザイマス、而シテ「社寺林地保管法」トアルノヲ、「社寺上地林地保管法」ト修

正致シマシテゴザイマス、是ハドウ云フ譯デアラウカト云ヒマス、社

寺林地ト致シマス、上地デナクシテ、其社寺ノ所有地ヲ指スコトニ爲

ルノデゴザイマス、然ルニ此法案ト云フモノハ元ト社寺地ニ爲ッテ、而シテ

上地ニ爲ッタモノヲ保管スルト云フ法デゴザイマス、此社寺ノ所有ト上地ト

ノ區別ガ確定シナケレバナリマセヌコトデゴザイマス、上地林地保

管法ト修正致シタ理由デゴザイマス、次ニ第一條ノ修正ト云フモノハ、即チ

讀デ字ノ如シノ趣意デゴザイマスニ依ッテ、斯様ニ致シタ方ガ宜シイト云フコ

トニナッテ居ッタノデゴザイマス、ツレカラ但書ヲ削除致シマシタ理由ハ、

固ヨリ此「保管セシムルコトヲ得」トシテ見マスレバ、保管ヲ致シタイト云フ

モノハ申請スルモノモアルダラウシ、又ハ農商務大臣カラ其保管ヲ命ゼラル、

コトモゴザイマセウ、斯ノ如クシテ見マスレバ、但書ト云フモノハ徹頭徹尾

不必要ト云フコトカラシテ、之ヲ削除致シタ理由デゴザイマス、次ニ第二條

ノ修正デゴザイマスガ「社寺林地ハ」トアルノガ、唯今其申上ゲタル通デ、固

コリ社寺ノ財産デナクシテ、上地ニ出デタ所ノモノ、保管法デゴザイマスニ依ッテ斯様ニ直シマシタ、ソレカラ「神官」ト云フノヲ「神職」ト直シマシタノハ、今日ノ言葉ノ上ニ當然ノ字デゴザイマス、次ニ「檀家」トアリマスルノヲ、即チ「檀徒」ト直シタ方ガ今日是等ニ使フ適當ノ文字ト心得テ修正致シタノデゴザイマス、ソレカラ第二條ノ但書ヲ削除致シマシタノハ、段々提出者ノ意思ヲ聽キマス、伊勢ノ神宮、或ハ越後ノ大社トカ、又ハ寺院ニシマシテハ御門跡ト云フヤウナ尊イ處モ胎シデ居ルト云フ精神カラ、斯様ナ但書ヲ附ケマシタノデゴザイマシタガ、段々は等ニ就イテ本省等ニ打合セテ見マス、ソレ等ノ關係ハナイノデゴザイマス、是モ不必要ト致シテ削除ヲ致シマシタ、次ニ第三條デゴザイマスガ、此重ナル修正ハ「府縣知事」トアルノヲ「大林區署長」ト致シマシタノデゴザイマス、府縣知事ヲ以テ是等ノ書面ノ往復ヲシマスルト、人民ノ便利ハ誠ニ宜シウゴザイマスルガ、惜テ此森林ト云フモノハ、ドウシテモ大林區ノ即チ農商務省ノ管轄デアツテ、大林區ノ監督ヲ受クルト云フガ當然デアアル、ソレ故ニ府縣知事ト云フヲナクシマシテ、大林區署長ト云フコトヲ入レタノデアアル、併シ管ニ委員會ガ其感シヨリ入レタノデナクシテ、即チ政府委員ガ斯様デナケレバ同意ヲスル事ガ出來ヌト云フ精神カラ御述ベニナツテ、道理上尤ノ事デアアル、人民ノ不便ハ増ス事デアアルケレドモ、事理ノアル所已ムヲ得マセヌト云フ積デ、此通ニ引直シタノデゴザイマス、其下ノ方ノ府縣知事トアル處ヲ大林區署長ト直シタノハ皆同シ理由デゴザイマス、ソレカラ第五條ノ削除デゴザイマス、是ハ餘程關係ノ厚イコトデアリマシテ、此本文ノ理由ニ依ッテ見マスルト、保管ト云フノ精神デナクシテ、詰リ全收利ト云フモノヲ其管理者ガ保管者ガ、自由ニスルト云フ方ニナツテ居リマシテ、即チ地上權、主副產物等ヲ其保管者ガ勝手ニスルト云フ意味ガ籠ッテ居リマス、全ク提出者ハサウ云フ趣旨デナク、ソレヲ賣ル時ハ其筋ニ書面ヲ往復致シテ、差支ナイ時ニ至ッテ此主副產物ノ收入ヲ取得スルコトヲ得ルト云フ精神デアアルニ依ッテ、其元ノ精神ニ反對シタ條項デゴザイマスニ依ッテ之ヲ削除致シタノデゴザイマス、次ニ元ノ第六條、新ノ第五條デゴザイマス「社寺ノ風致致其他云々」トゴザイマスガ、之ヲ「社寺上地林ハ風致其他國土保安云々」ト直シマス、是ハ專ラ此字義ノ中ニ原案ノ精神ト云フモノガ十分包含シテ居ル、是デ宜シイト云フコトカラ引直シタノデゴザイマス、第六條ノ精神ト云フモノハ、前ニ述べタ通、府縣知事ノ許可ヲ受ケルト云フノヲ大林區署長ノ許可ヲ受ケベシト云フコトニ引直シタ理由デゴザイマス、ソレカラ舊ノ第八條報告ノ第七條デゴザイマス、是ハ原案ト左程ノ意味ガ違ッテ居リマセヌガ、原案ノ通ニシマスルト云フト、餘リニ其切込過ギタ話デアアルニ依ッテ、此朱書ノ通ニ引直シタ方ガ宜シイト云フ見込カラ、斯様ニ引直シマシタ、次第デゴザイマス、ソレカラ新シク第八條ト云フモノヲ挿入致シマシタ、此八條ヲ挿入致シマシタ理由ト云フモノハ、元トノ第八條ヲ斯ノ如ク變更致シテ見マス、全ク此第八條ノ精神ト云フモノヲ——條項ト

云フモノヲ關イテナラヌコトニ爲リマシテ、ソレガ故ニ此條項ヲ新ニ挿入致シテゴザイマス、第九條ハ差シタル事ハゴザイマセヌ、先刻ノ理由ト同ジデゴザイマス、ソレカラ第十條デゴザイマス、此修正ノ結果トシテ第七條、第八條ト往カナケレバナラヌニ依ッテ「第七條」ト云フ三字ヲ入レマシタ、其下ニ「其跡地」トゴザイマス「其」ト云フ字ト「跡」ト云フ字ノ間ニ「ノ」字ヲ入レマシタ、第十一條ニ至リマシテハ、矢張先刻ノヤウナ意味デ「上地林」ト字ヲ直シテ「漸次」ト云フ字ヲ削除シマシタノハ、斯様ナ趣旨デナカラウ、固ヨリ「漸次」ト云フ字ハナクテモ宜イト云フ趣意カラ除キマシタ、又「圖ルヘシ」ト云フコトデハ薄弱デアアルニ依ッテ「植栽スヘシ」ト云フコトニ斷然トス様ニ直シタガ宜シイト云フ所カラ引直シマシタ（「簡單々々」ト呼フ者アリ）ドウゾ皆述ベナケレバ仕方ガゴザイマセヌカラ、ドウゾ御辛抱ヲ願ヒタウゴザイマス、ソレカラ第十三條ニ矢張前條ノ如ク「其他」トアル「其」ノ字ト「他」ノ字ノ間ニ「ノ」字ヲ入レマシタ、ソレカラ第十四條デゴザイマス、第十四條ニハ府縣知事トゴザイマスケレドモ、是ハ固ヨリ「政府」ト云フ字ニ直サナケレバ、總體ノ修正カラシテ合ヒマセヌカラ斯様ニ直シマシタノデゴザイマス、其下ノ「林地」トシタノハ意味ガアツタ譯デアアリマセヌガ、讀ンデ字ノ如ク直シタノデゴザイマス、十五條デゴザイマス、是ガ修正ノ結果トシテ、此條項ト云フモノガ挾マリマシタノデゴザイマス、其十五條ノ「保管者」ト云フ處ハ、前ノ但書ガナクナツテ見レバ、即チ「管理者」ト云フコトガ此處サ入レナケレバナラヌト云フノデ、茲ニ「管理」ト引直シタノデアリマス、其次ニ十六條、是モ其意味デゴザイマス、ソレカラ此但書ノ「使用地ハ之ヲ禁止シ」ト云フノハ全ク文章上重複シテ居ルト云フ考ヨリ消除シタノデゴザイマス、十七條ハ前ニ申上タル通ソレカラ十八條デゴザイマス、十八條ト云フモノハ、是ハ委員會デ政府委員カラ希望ガアリマシテ、是ニ就イテ色々御述ベニナツタコトデゴザイマス、其說ヲ聽イテ見マスルト、如何ニモ適當ノ事ト委員會ハ考ヘマシタノデゴザイマス、ソレト云フモノハ即チ「十五條ト十六條ノ處刑ヲ受ケタル時ハ農商務大臣ニ於テ其保管ヲ解除スルコトアルベシ」トゴザイマス、茲ニ至ッテ保管ハソレ切リ、後ハ命ジマセヌカト言ヘバ、其住職トカ、或ハ神職トカ、又ハ檀徒トカ、何トカ云フモノカ氏子總代ト云フ惡ルイコトヲシタ者ガ其罰ヲ受ケテ去ッテシマツテ、惡ルイコトヲシタ者ガ無クナツテ、善キ人ガ坐ッタ時分ニハ、又元ノ通許スト云フ意味デゴザイマス、是ハ左様ニ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ二十條ヲ茲ニ新シク入レマシタノハ、固ヨリ執行期日ト云フモノハナクトモ構ハマセヌ、是故ニ適當ノ年月ヲ定メテ見レバ、三十年ノ一月一日ガ相當デアラウ、又森林法モ即チ三十年ノ一月一日ヲ以テ執行期日ト云フコトニ致シマシタノデゴザイマスルニ依ッテ、是モ斯ノ如ク致シマシタノデゴザイマス、右ノ通ニ御承知ヲ願ヒタイ

○早川龍介君（二百十一番） 一寸承リタイ、此第一條ニゴザイマスル「其社

寺ニ保管セシムルコトヲ得」トアリマスルノハ、是ハ一體此最初提出ノ本旨ハ、其神社若クハ寺院等ノ境内ニ爲テ居ルモノヲ、ソレヲ小口ヲ切取ツテ、之ヲ官有トシタノハ甚宜シクナイト云フ所カラ、此法案ノ原則ハ——此提出ハ起テ居ルヤウデアリマスルガ、茲ヘ參リマシテ是ハ只其神社寺院ニ満足ヲ得セシメルト云フノ法案ノヤウデアツタ、然ルニ此條項デ見マスルト云フト「農商務大臣カ保管セシムルコトヲ得」トアリマスルガ、多クノ社寺ニ之ヲヤルト云フコトノ精神デナク、自分ノ思付ヤ、勝手ニ或ハ氣ニ入ツタ所ノミヲ拔キミ、ニヤルト云フヤウニ見エテ居ルガ、全クサウ云フ意味デアルノデアリマスルカ、或ハ多クノ神社寺院ニハ、大抵此法案ニ依ツテ保管セシムルト云フコトニ爲ルト云フ譯デアリマスルカ、之ヲ一寸承リタイ

○齋藤良輔君(二百九十九番) 御尤デゴザリマス、是ハ此私杯ハ實ハ其原案ヲ賛成シテ居タ位ノコトデゴザリマス、然ルニ政府デハ此一條ニ對シテハ徹頭徹尾反對デアアル、贊同ハセヌト云フコトヲ曩ニ御述ニナツタノデゴザリマス、ソレハドウ云フコトデアラウカト云フコトニシテ見タ所ガ、唯今委託林規則ト云フモノヲ實施シテ居ツテ、アノ通ヤツテ居ツテ見レバ、別ニ不都合ナコトハナイデザナイカ、ソレニ此法律ニシテ出スト云フコトハ甚ダ面白クナイコトデアアル、アレデ足リルト云フコトデナイカト云フ意味カラシテ反對デゴザリマシタ、然ルニソレヲ段々論ジマシテ、委託規則ニ據ルト委託年限ハ十五箇年カナ、其十五箇年ヲ過ギテ、又願フ時ニハ又十五年ト云フヤウナコトデ、此木竹ヲ整理シテ行クモノニ十五年ノ年限ト云フコトハ當條ヲシテ話デアアル、ソレ故ニ委託規則ハ吾モ徹頭徹尾信ズルコトハ出來ヌ、從フコトハ出來ヌ、故ニ此法案ト云フモノヲ、ドコマデモ拵ヘテイカナケレバナラヌト云フコトデゴザリマシテ、ソレデ此說ハ私ガ申上ゲテモドウモ皆サンガ信ジナカラウト思フ、殆ド困ル事ガアル、或ル人ガ金子次官ニ聞ケバ、是ニ賛成スルト謂ヒ、之ヲ議スル時ニ政府委員ハ反對ダト云フ、同ジ省ノ下ニ立ツ役人ガ、反對ダ、賛成ダト云フ二ツノ説ガアツテ殆ド困ツタノデゴザリマスケレドモ、段々考ヘテ見ルト、唯今早川君ガ仰シタル通「得」ト云フコトハ、整理ノ目的ヲ達スルコトハ私共ハ不感服デアルケレドモ、委員會ハ已ムナク茲ニナツタモノデゴザリマスルカラ、報告ハ斯様ニ致サンケレバナリマセヌ

○早川龍介君(二百一十一番) サウシマス一寸伺ヒマスガ、精神ハ詰リ成ルベク政府モ是ニ同意ニナツタ以上ハ、多クソレヲヤルト云フ意味ヲ以テ……○齋藤良輔君(二百九十九番) 委員會ノ決議ハ縱シ得ルトアツテモ、ドコマデモヤルト云フ精神デ決議シタノデゴザリマス

○早川龍介君(二百一十一番) ソレカラ、モウ一ツ承リタイト申スノハ、此十條ニ樹木ヲ植附ケルト云フコトハ、十條ト十一條トニ在リマス、サウシテ之ヲ若シ植附ケル時分ニハドウ斯ウト云フ罰則法ガ設ケテアリマス、ソレニモ拘ラズ、此十四條ニ「其保管林地ニ政府ニ於テ植樹ノ必要ヲ認ムル時ハ其保管林地ニ苗木ヲ植附クコトアルヘシ」トアリマスガ、此前ノ方ノ條項ニ違反

シテシマツタ後トデ、政府ガ植附ケルト云フコトデナク、政府ハ若シ事實ノ通ニ植附ケルト云フコトヲ、其社寺若クハ寺院等ガソレダケノ責任ヲ盡シテヤルト云フテモ、政府ハ唯自分ノ見込ニ依ツテ取ツテ以テ、此土地ニハ植樹ヲスルコトヲ爲シ得ラル、ト云フヤウニ聞エル、少シ苛酷ノヤウデアリマスカラ、之ヲモウ一ツ……

○齋藤良輔君(二百九十九番) 是ハ其十三條ト十條トノ關係デゴザリマスルガ、固ヨリ此保管者ト云フモノハ林ヲ愛養スルコトハドコマデモ愛養シテ、又植栽シテイカナケレバナラヌノデゴザリマス、ソレガ若シ怠ツタトキハ政府ハ即チ植附ケルト云フコトガ利益デアリマスカラ、サウイカナケレバナラヌコトデアラウト私ハ信ジマスケレドモ、茲ニ大ニ或ハ感アル事ガアリマセヌカト云フ考ガゴザリマス、何故ナレバデゴザリマス、十二條ノ官用又ハ公用ノタメ社寺上地……イヤ是デハナイ、間違ヒマシタ、十三條デゴザリマス「製鐵其ノ他官用ノタメ大樹ノ必要アルトキハ政府ニ於テ伐採スルコトアルヘシ」ト云フ條項ガゴザリマス、是ガ何故ニ茲ニ規定シマシタカト言ヘバ、成ルベク政府ハ此保管以上ノ林ト云フモノハ手ハ附ケナンダラウト云フコトハ、私共ガ信ジテ居リマスケレドモ、其社寺ノ境内ニ木材ガアツテ、或ハ軍艦ヲ拵ヘルトカ、或ハ畏多イ事デゴザリマスケレドモ、皇居ヲ御造營ニ爲ルトカ、或ハ官舎ノ大キイモノヲ建テルトカ云フ時ニ至ツテ、巨大ノ木材ノ入用ナルトキハ縱令其保管林ニ植エタ木ガ成木シテ、珍シイ大キイ木ニナツテモ、ソレハ別ニ錢ヲ拂ハズシテ伐ツテ行クト云フコトヲ規定シタノデゴザリマスルニ依ツテ、此ノ邊ノ處ヲ御了解願ヒタイ

○田中島雄君(百二十八番) 少シ質問ガアリマス、委員長ニ少シ御問ヒ申シマスガ、私ガ御問申スノハ斯ウ云フコトデゴザリマス、當議會ニ於キマシテ森林法案ト云フモノガ既ニ制定ニ爲ルコトニナル、サウシマスルト云フト、此上地林ナルモノハ、私ガ思フニ森林法ノ中ニ、或ハ本條デナケレバ、附則デモ宜シイ、一寸加ヘ置イタラバ、大抵此コトガ足リルト、私ハ信ジテ居ツタノデス、豈ニ圖ランヤ斯ウ云フ獨立ノ法案ニ爲ツタガ、委員會ニ於テサウ云フ評議ハナカッタノデゴザリマスカ

○齋藤良輔君(二百九十九番) 御答致シマス、一體其私杯モ先ニハ左様ノ考ガアツタノデゴザリマス、併ナガラアノ森林法ト云フモノハ、官林ニ、民林ニ、此官林ト云フ名ノ下ニ就イテ、一般ニ此監督上ノ事ヲ示シタ方ノミニ作ツタモノデゴザリマシテ、アレニ對シテ保管法ヲ籤込ミマスルト云フト、籤リ處ガナイノデゴザリマス、ドウシテモアナタノ御考デハ森林法ト云フコトニシテ見レバ、ドレモ籤マルダラウト云フ御考ハ御尤デアリマスルケレドモガ、官林ノ監督法ト云フモノモアレニハ籤兼ネテアツタノデアリマス、況シテ此事モ籤メルコトハムヅカシイノデ、アレハ一般ノ官民有テ問ハズ、社寺林ヲ問ハズ、森林法ト云フコトニ管理上ノ事ヲ定メタ規定デゴザリマス

此森林ノ小町歩ノ處ハ拂下ゲタラ宜カラウト云フ、是ハ豫テヨリノ當議會ノ
輿論デモアツタ、未ダ法案ニハ爲ラヌ、是等ニ在ル所ノモノヲ私共ハ或部分
ハ、矢張拂下ゲタ方ガ宜カラウト思フタ部分ハ是デ極ツテ、一ノ法案ニ爲
テシマツテ動スコトガ出來ナイコトニ爲リマスガ、サウ云フ風ナ……

○齋藤良輔君(二百九十九番) 御答シマス、此ツレヲ附ス場合ニハ色々ナ事
ガゴザイマス、此管理法ヲ議ス場合ニハ、他ノ法ヲ議スル場合ニハ、別ニ論
ガナカッタノデアリマス

○田中島雄君(二百二十八番) 此上地林ニ對スルモノハ、大變小サイモノハ到
底斯ウ云フ法ヲ以テヤツタ所ガ格別國家ノ利益ニモ爲ラヌモノデ、詰リ官ノ
手數バカリ掛ツテ仕方ガナイモノデアアルカラ、ソレデ私共ハ自分デ調ベタ上デ
ハ、斯ウ云フモノハ其部類ニ這入ルモノデアラウト思フタガ、ソレ等ハ別ニ
御調ガナカッタノデスカ

○齋藤良輔君(二百九十九番) ツレハ斯様ニナツテ居リマス、今述ベル通、
保管ト云ツテ唯現在官地ニ爲ツテ居ルモノダケ保管ノ方法ヲ規定スルモノデ
アツテ、拂下等ノ事ニ就イテハ一向別段議論ガナカッタ

○田中島雄君(二百二十八番) モウ一ツ、是ハ無論ノコトラシイデ御尋申シテ
置キマスガ、之ヲ二十年カラ施行スルニ就イテハ、依託林ナルモノハ悉皆是ニ
換ヘテシマフト云フコトニ爲ル、サウナルト是ニ年限ノナイト云フモノハ可
笑シイト思ヒマス、人ト云フノハナカク、五十年百年ノ長イ間一代デ續クモ
ノデナイ、然ルニ限ガナクテハ可笑シイガ、ソレ等ノ御詮議ハドウデアリマス

○齋藤良輔君(二百九十九番) 御答シマスガ、其邊ノ年限ノ事ハ今日ノ委託
規則ニ依リマス、先刻申シタ通十五年限ト云フコトデ、又十五年ガ過ギレ
バ又十五年許可ニナルコトニ爲ツタ、併ナガラ御承知ノ通森林ト云フモノハ、
木ヲ植エレバドウシテモ數年間掛ルモノデアツテ、詰リ木ノ上カラモ其通デ、
ソレカラ保管サセル處ハ社ニ保管サセルノデアツテ、人間其モノニ保管サ
セルノデナク、神社ガ例ヘバ一千年御鎮座在スト云ヘバ、一千年其神社ニ保
管サセルト云フ今日ノ心デアリマス

(政府委員農商務省山林局長高橋琢也君演壇ニ登ル)

○政府委員(高橋琢也君) 諸君、此社寺林地保管ノ法案ハ、第一議會ノ始
ニ於キマシテ當議場ニ上ボリマシタ節ニモ、政府委員カラ一言申上ゲテ置キ
マシタ、此表題ニゴザイマス通ニ、社寺林地保管法案トゴザイマス、此保管
ト云フコトデアアルレバ、サノミ政府ハ不同意ハ申シマセヌ、併シ中ノ條項
ヲ見マスト、保管ノ精神デナイモノガゴザイマスガ故ニ、是ガ修正ニ爲リマ
シタナラバ、政府ハ反對ヲ致サナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタ、然ル
ニ委員會ニ於キマシテ段々御修正モゴザイマシテ、又政府ノ意見ヲモ御入レ
ラレマシタ所ガゴザイマス、政府ニ於テモ十分ニ御譲リ申シタ積デゴザイマ
ス、然ルニ御修正ノ結果ガ遂ニ保管ト云フコトノ精神ヲ超エタ位デナイ、幾
ド保管ト云フ精神ガドコニアルヤラ分ラヌト云フヤウナコトニ至リマシタ、

始ヨリ成ルタケ不同意ヲ申上ゲヌト云フ積デゴザイマシタ故ニ、委員會デモ
政府委員ハ十分ニ務メテ御譲リ申シタケレドモ、不幸ニモ今日ハ此處ニ出テ
不同意ヲ申上ゲナケレバナラヌト云フコトニ至リマシタ、固ヨリ此法案全體
ニ對シマシテ不同意ヲ申ス譯デモゴザイマセヌ、不備ナガラモ第一條ハ又政
府ノ意ヲ御容レニナリマシテ、此點ハ我慢ヲ致シテ御同意ヲ致シマスル、併
ナガラ第八條ヲ御加ヘニナツタ點ハ、ドコマデモ御不同意ヲ申上ゲナケレバ
ナラヌ、又第十三條デゴザイマス、原案ノ第十三條、是モ已ムコトヲ得ズ
不同意ヲ申上ゲナケレバナラヌ、元來此提出者タル今井君ハ、社寺ニ委託シ
成ルベク伐ラサナイ、即チ保管セシメテ伐ラサナイ、是ハ常ニ仰デゴザイマ
ス、誠ニ結構ナ御趣意デゴザイマス、政府デモサウ云フ御精神デゴザイマシ
テ、ソレデ保管法ト云フコトデゴザイマスカラ、誠ニ結構ナコト、信シテ居
リマスル、然ルニ今井君ノ即チ御提出者ノ御精神ノ如ク實地ニ行レマセウカ
ト思ヒマスルノニ、事實ハ是ニ反シマセウト存ジマス、如何ト申シマスルノ
ニ、第八條デハ少モ制限ト云フモノハゴザイマセヌ、唯營林上材木ヲ要スル
場合ニハ、大林區署長ノ許可ヲ得テ伐ルト云フ斯ウ云フコトニ爲ツテ居ル、
元ト御提出案デゴザイマス、御提出案ノ第八條即チ原案ノ第八條ニハ、社寺
ノ維持保護ノタメ要スル場合ニハト云フコトガゴザイマス、然ルニ今度ノ
新條項ニ至リマシテハ、維持保護スラモナイノデアアル、サウスルト云フト何モ
條件ナシデ漫然伐ルト云フコトニ至リマスルノデアリマス、抑第七條ニ於
キマシテハ社寺ノ修繕若クハ建築ノタメニハ、無代價デ伐採ヲ許スコトニ爲
テテ居リマスル、是マデノ保管委託規則デゴザイマシタナラバ、固ヨリ拂下
ノ外ニハ許シテゴザイマセヌ、ソレヲ今回ハ政府モ十分御譲リ申シテ、社寺
ノ修繕建築ト云フ場合ノ用材ハ、管林上許シマスル限ハ無代價ヲ以テ伐採セシ
ムルト云フコトニシテ居リマスルノデ、御承知モゴザイマスル通、舊時社寺
ノ修繕トカ建築トカ致シマスル場合ニ、所謂名僧智識ナル者ガ、數年間若ク
ハ數十年間託鉢致シマシテ、十分ナ辛酸ヲ嘗メテ始テ一寺ノ修繕ガ成ルトカ、
建築ガ出來得ルトカ云フヤウナモノデゴザイマス、然ルニ今回ノ法案デゴザ
イマス、此第七條ハ坐シテ建築用材、修繕用材ガ貰ヘルト云フノデアリマ
ス、既ニ是ガゴザイマスルノニモ拘ラズ、殆ド無條件デ第八條デ如何ナ
ルモノデモ伐リ得ルト云フコトニ爲ツテ居リマス、是ハ誠ニ御提出ノ原案ヨ
リモ甚シイト云フノハ如何デゴザイマセウ(モウ分リマシタ)ト呼フ者アリ
到底政府ガ斯ウ云フモノニ向ツテ同意ヲ致スト云フコトガ出來ナイト云フノ
ハ、諸君モ御承知デゴザイマセウト思ヒマス、又第十三條ニ大木ハ伐ツテ
宜イト斯ウ云フ事ガアリマス、サウスルト大木ハ伐ツテ宜イト云フコトガア
ルガタメニ、他ハ伐ラヌト云フコトニ爲リマス、然ルニ現在モ社寺ノ上地
林中デ、一部分ハ既ニ委託ヲシテ居ル、或ハ嚴島ノ如キ四百町步程委託ヲシ
テ居リマス、併シ全體二万八千五百町步カラアル、是ニ向ツテハ既ニ施行案
モ作リツ、アル、年々ノ伐採區域ヲ定メテ、殊ニ此木材ト云フモノハ嚴島ノ人

民ガ種々ナ工業其他燃料ニ使ヒマスルタメニ拂下ヲ致シテヤリマスル、若シ之ヲ社寺ニ委託シテ固ヨリ社寺ガ營利的ノ仕事ガ出來マセヌガ故ニ、政府モ此拂下ヲスルコトガ出來兼ネマスル、斯ウ云フヤウナコトニ爲リマスレバ、嚴島ノ人民ハ非常ニ困ルト云フコトガ起ツテ參リマセウ、是ガ政府ノ反對ヲスル所以デアリマス

○草刈親明君(二百三十一番) 反對ノ意見ヲ申述ベタイノデアリマスガ

○議長(楠木正隆君) 通告ガアリマス、反對、賛成兩名アリマス

○早川龍介君(二百一十一番) 此八條ノ唯今御説明ガアリマシタガ、是ハ詰リ大林區署長ノ許可ヲ得テ取ルト云フヤウニ爲ッテ居リマスガ、詰リ大林區署長ノ許可ヲ得テ取ルト云フ一ツノ條項ガアツテモ、是ガ大層事實ニ於テ不都合ガアルト云フ御考デアアルカト云フコトヲ、一寸政府委員ニ承リタイ

○政府委員(高橋琢也君) 早川君ノ御問ニ答ヘマス、成程大林區署長ノ許可ヲ得ルトゴザイマスルガ、他ニ條件ノゴザイマセヌ以上ハ、大林區署長ハ之ヲ許サヌト云フコトガ出來得マスミイト考ヘマス、如何トナレバ是ハ保存林ノ所謂國土保安等ニ關係シテ居ルカラ、是ハ往ケナイゾヨト云フ場合ハ許シマセヌデゴザイマセウガ、何ニモ條件ノナイ場合ニハ、許サニヤナラヌト云フコトニナリマス

○齋藤良輔君(二百九十九番) 一寸今ノ違ッタ所ガアリマスカラ、私ヨリ聞キタイコトガアル、今ノ御答辯デ甚ダ驚入ッタ事デゴザリマスルガ、私共ハ實ニ此大林區署長ヲ經由シテ伐ルト云フコトハ、コンナムヅカシイ事ハ入レタクナカッタノデ、ケレドモ即チ唯今政府委員ノ其席ニ列ツテ居ッテ、府縣知事ノ許可ヲ得テト云フコトハ、管理上ドウシテモ大林區署長ノ許可ヲ得テト云フヤウナコトニシタ方ガ宜イト云フノデ、御尤ノ事ト存ジテ入レタノデ、苟モ大林區署ト云フ一ツ其役所ヲ立テ、其事ニ就イテ斯ウシタイト云ッテ願出タナラバ、メッタヤトラニ許スト云フコトハナカラウト思ヒマス、若シアナタノ云フヤウナコトガゴザイマスレバ、實ニ大林區署ハ價値ノナイモノト思ヒマス

○政府委員(高橋琢也君) 御答致シマス、メッタヤトラニハ許シマセヌデゴザイマセウ、所謂國土保安ニ關係シテ居ルト云フコトハ、伐ルトコトハ許サヌ、即チ斯ウ云フ一ツノ他ニ禁止スル條件ガアレバ許サレマセヌガ、何ニモツレガナイ場合ニ至リマスレバ、一方ニハ政府ノ既ニ伐ルトコトガ出來ナイト云フ禁止令ガアル、サウスレバ營林上既ニ是ハ伐ラナケレバナラヌ、例ヘバ成長ヲシテ最早成長ハセヌト云フ場合ニハ、營業上伐木ヲ要スルト云フノデアル、或ハ薪炭林モ社寺ニハゴザイマス、所謂營林ニ爲ッテ居ルモノハ、營林トシテ伐木ヲシナケレバナラヌ、營林上之ヲ伐ルト要スルト云フ場合デゴザイマスレバ、他ニドウモ拒ムヤウナコトガナカラウト考ヘマス

○齋藤良輔君(二百九十九番) ソコデゴザイマス、ツレガ私ノ分ラナイコトデ、營林上ドウシテモ此樹ガ立ッテ居テハ、林ノタメニハナラヌ、斯ウ云フ

時ニ爲ッタナラバ、大林區デ管轄シテモ大林區ガ自ラ之ヲ伐ランケレバナラヌ、伐ランケレバ林ノ發達ガ出來ヌト云フモノハ、ドウシテモ伐ランケレバナラヌダラウト思ヒマス、ツレヲ已ムヲ得ズ伐レルト云フ道理ガ分カラヌ、アナタノハサウデナク、斯ウ云フ所ニ理由ガアラウト思ヒマス、ソコハ打解ケテ御話ヲ願ヒタイ、伐ラセルトコトハ仕方ガナイケレドモ、一圓ノモノヲ五十錢ヅ、分ケテ居ッタノデ、ツレヲ全部一圓ヲ伐ラレルカライケナイト云フ精神カラ、同意ガ出來ナイダラウト思ヒマス、サウデナケレバ營業上此木ハ伐ラヌ、ツレガ伐リタクナイト云フ道理ハナイ

○政府委員(高橋琢也君) 伐リタクナイト云フコトハ申シマセヌガ、營林上伐ルト要スルトアル以上ハ仕方ガナイ

○齋藤良輔君(二百九十九番) 例ヘバ營林上、必要ヲ生ズルト見テモ、事業上ニ對シテ見テモ、甚ダ間違ッテ居ル

○政府委員(高橋琢也君) アナタノハ御議論デヤゴザイマセヌカ

○草刈親明君(二百三十一番) 私ハ委員長ナリ、或ハ其他ノ委員會ノ諸君ニ一言承ッテ置キタイ事ガアリマスル、先ヅ第一委員長ニ私ハ承ッテ置キタイ事ハ、委員長ハ昨年ノ議會ニ於テ本案ガ今井磯一郎君ヨリ提出サレマシタ場合ニ、ドウ云フ演説ヲシタカト云フノニ、斯ノ如キ法案ト云フモノハ所謂毒坊主ノ腹ヲ肥スニ過ギナイノデ、頗ル國家ノタメニ不利益ナモノデアアル、造林上不都合ナモノデアアルと言ッテ反對サレタノデ、其方ガ本年ニ爲リマシタカラ之ヲ贊成スルト云フ譯合ハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、又委員會ノ諸君ナリ、或ハ委員長ナラバ尙ホ満足デアアルガ、此第七條、第五條等ヲ見マスレバ、唯今政府委員ガ説明サレマス通、ドウモ社寺ガ其社寺ノ修繕建築等ノ必要ナル場合トシテ、伐木等ヲ願出マシタキニ於テハ、容易ニ營林區署ニ於キマシテ之ヲ買入レヌト云フコトハ出來ナイヤウニナリハセヌカト云フノハ第五條ニ明文ガアリマシテ、社寺上地林ハ風致其他ノ國土保安上ニ關係スルモノハ、伐ルトハ出來ナイト云フコトガゴザイマスルガ故ニ、此以外デアッタナラバ、何故ニ其伐採ヲ許可スルトコトガ出來ナイト云フ口實ガ大林區署ニナクナルデハナイカ、斯ウ云フ心配ヲ持ッテ居リマス、然ルニ其心配ハナイ、即チ先刻齋藤君ダカ政府委員ニ御問ニナリマシタ通、大林區署ニ許可ヲ得ルト云フコトガアルカラ、決シテ徒ラニ社寺ガ拂下ヲ得ルヤウナ事ガナイト云フヤウナ御意見ニ拜聽致シマシタガ、ツレハドノ點カラサウ云フ御議論ニナリマスノデゴザイマスカ、即チ本案ノ如キハ敵ハ本能寺ニ在ッテ、第一條ガ目的ノ如クニ見ユルケレドモ、其實第七條、第八條ガ目的、齋藤君ノ所謂毒坊主ニ社寺森林ヲ伐木サセルト云フコトニ爲ルト私ハ思フ

○齋藤良輔君(二百九十九番) 草刈君ハ何ヲ見タノデスカ、私ハ昨年ハ反對シタコトハナイ、神社ニハ遺ルケレドモ毒坊主ニヤラヌト云フコトハ、今モ

言フタ通、人間ニ之ヲ保管サセルコトデハナイ、神社ニ保管サセル意志デア
ルカラ、私ハ昨年反對シタコトハナイト御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ今ノ草
刈君ノ説ニ向ッテハ、聊カ答ヘテ置キマスガ、草刈君ノ御趣意ハドコニ在
ルカ、能ク會得シマセヌガ、若モ此案ト云フモノガ府縣知事ナリ、大林區署
長ナリ、其監督ヲ致サセテ置カンケレバ、忽チ濫伐シテシマフト云フ憂ガア
ルダラウト信シマス、ソレヲ監督ヲ十分サセテ置イテ、實際ニ神社ノ入用採
ガアル時ハ、宜シキニ從ッテ伐採ヲ許シタ方ガ宜シイト云フ精神デゴザイマ
ス

○眞下珂十郎君(二百四十二番) 私ハ政府委員ニ質問致シマス、其質問ノ要
旨ト云フモノハ、此社寺林ノ事ニ就イテ、社寺林ト云フモノハ社寺ノ威嚴ヲ
保チ、又風致ヲ存スルト云フコトハ、所謂天下ノ通論デアラウト私ハ考ヘル、
而シテ此社寺ナルモノハ、引裂上地デアアルカラ、何レノ町村ニモナイ處ハナ
イ、其引裂上地ニ對シテ林務官ナル者ガ、辨慶ノ七ツ道具ノヤウナモノヲ
提ゲテ、一方ニハ繩ヲ持チ、一方ニハびするヲ持ッテ廻ッテ歩クト云フケ
レドモガ、逆モ廻リ切レルモノデハナイ、縱シ廻リ切レルシテモ、旅費ト
云フモノモ掛リ、ナカク得失償フモノデハゴザリマセヌ、詰リ國家ニ損ニ爲
ルコトデ、寧ロ之ヲ地方ノ者ニ任セマシタナラバ、地方ニハ監視ト云フ者ガ
アリマスルガタメニ、決シテ無法ナ事ハ出來マセヌ、濫伐スル恐モナイト思
ヒマス、サウ云フコトニ爲リマスレバ、林務官ノ經濟モ省ケテ來テ、大層利
益ガアルト云フ説ガアリマスケレドモ、政府ハ如何ナル御考デゴザリマスガ

(政府委員農商務省山林局長高橋琢也君演壇ニ登ル)

○政府委員(高橋琢也君) 御答致シマス、森林ノ官吏デハ取締上ムツカシカ
ラウト云フ御尋ノヤウデゴザリマスガ、御承知ノ通之ヲ府縣取扱ヒマスル
ニハ、府縣ニハ經費モ少イ官吏モ少イ、ソレガタメニ村長ニ任ストカ、郡長ノ
監督ニ任ストカ云フヤウニ致シマス、幸ニ大林區署ノ下ニハ小林區モアリマ
スカラ、行届ク積デアリマス

○高橋安爾君(二百三十七番) 委員長ニ御尋致シマスル點ハ、此法案ハ上地
林保管法トゴザリマシテ、土地及其主產物トモ、他人ノ物ヲ人ガ保管スル意
味ニ見エマス、而シテ其内輪ヲ見マスルト、土地ノ事ハ措キマシテ、主產物
ト云フモノハ、政府ノ物デ官有物デアアル、或ハ保管者ノ物デアアルト云フヤウ
デ、更ニ其區別ガ分ラヌヤウニ爲ッテ居リマス、即チ第五條ニハ社寺上地林
ハ風致其他云々トアツテ、採收スルコトヲ得ズトスウゴザリマスガ、七條、
八條ニ至リマスルト、大林區署長ノ許可ヲ得テ採收スルコトガ出來ルト斯ウ
アリマス、是ハ先刻モ議論ノゴザリマシタ、無代價ト云フノデアアツテ、採收
スルコトガ手續ヲ經テ出來ルトアル點カラ見マスルト、殆ド保管者ノモノ、
如ク、此法律ノ上デハ見エルトアル、法案ノ成立致シマシタ精神ハドウ云
フ點ニアルノデゴザリマスガ、主產物ト云フモノハ保管者ニ多少採收セシム
ルト云フノデアアリマスガ、其邊ヲ承リタイ

○齋藤長輔君(二百九十九番) 是ハ地上權ノ事デアリマシテ、即チ主產物
ハ其筋ノ許可ヲ得テ、大林區署長ノ監督ノ下ニ在リマスカラ、其許可ヲ得
上ニハ、其許可ノアルダケハドウシテモ保管者ガ使用スルコトガ出來ルト云
フ精神デアリマスケレドモ、土地ノ事ハ、勝手次第第二任スト云フコトハ逆モ
出來ナイ、ソレカラ第五條ノ所ハ國土保安ニ關スルノデアアルカラ、縱令願
テモ之ヲ伐ルコトハ出來マセヌ

○高橋安爾君(二百三十七番) 第一條ニ依リマスルト「官用又ハ公用ニ供セ
ラレサルモノ」トアツテ、本員等ノ考ニ依リマスルト、官用ニモ公用ニモ關
係ハシナイモノナラ、ドシク賣拂ッテモ宜イヤウニ考ヘル、併ナガラ風致
其他國土保安ニ關スル樹木、其他ノ產物デゴザイマス、是等ハ強チ風致ニ關
スル、國土保安ニ關スルト云フト、官用若クハ公用物ト定ヌノガゴザリマ
スカラ、斯ノ如ク風致若クハ國土保存ニ關スルト見テ、而シテ採收ヲ許サヌ
場合ハ、ソリヤ許サナイデ宜シイノデアアル、併ナガラ官用物若クハ公用物ト未
ダ爲ッテ居ラヌ位ノモノデゴザイマスルカラシテ、風致其他國土保安トカ云
フ漠然タルコトデ、許可スルコトハ出來ヌト云フヤウナ場合ハ少カラウト思
ヒマス、併シ是ハ執行上ノ話デゴザイマスカラ宜シウゴザイマスガ、免ニ角
唯今ノ御答ニ依リマスルト、此上地林ニ存在スル所ノ樹木ト云フモノハ、此
法案ニ於キマシテハ、即チ保管者ノ物トシテ、法律ヲ變換シタト云フ法律ヲ作
ルト云フ意味ニ解釋シテ宜シウゴザイマスガ

○齋藤長輔君(二百九十九番) 此風致林ノ事ハ別ニ御論モ見エマセヌヤウデ
ゴザイマスガ、念ノタメニ吾々ノ意見ノアル所ヲ聊カ述ベテ置キマスガ、全
ク政府デモ保安林ト云フモノハ、著々歩ヲ進メテ居リマス、ソレカラ今ノ主
副產物ト云フモノハ、保管者ノ所有ニ歸スルコトガアルカト云フ御問ニ就
テハ、甚ダ私ノ答辯ニ苦シムノデゴザイマス、ナゼト云フト、精神ハ如何ニ
モ御問ノ通ノ精神デ調ベテアツタガ、併シ段々論ジテ見ルト云フトナカク
サウ參リマセヌ、何故參ラヌカト云フト、是ガ官デモ勝手ニ伐ルコトガ出來
ズ、又保管者モ勝手ニ伐ルコトガ出來ナイカラ依ッテ、一々言フト公共ノ者ト
云フヤウナ意味ニ爲ッテ、官モ民モ勝手次第第二伐ルコトガ出來ヌゾト云フヤ
ウナコトニ爲ッテ居ル

(依田道長君演壇ニ登ル)

○依田道長君(百番) 諸君、本員ハ社寺林保管法案ニ反對スル者デアリマス
(「簡單々々」ト呼フ者アリ) 極ク簡單ニ、私ハ不辯デアリマスカラ長ク言ヒタ
イト思ッテモ言ヘマセヌ、諸君ノ御嫌厭ヲ來サヌヤウニ致サウト思ヒマス、
今井君ハ相變ラズ年々歳々懲リモナク同ジ法案ヲ御出シニナツテ、是ニ御熱
心ト見エテ御出シニナリマスガ、此案ト云フモノハ、此法案ノ精神ガ違ッテ
居ラウカト思ヒマス、第一ニ社寺ヲ元トシテ社寺林ノ保管ヲスルト云フヤウ
ナ案ニ出來テ居ル、其何ヲ見マスレバ社寺ノ保管ニシテ見マスレバ、神職、
氏子總代、住職、檀家總代トカ云フヤウナコトニ爲ッテ居リマスガ、此案ト

云フモノハ、社寺ニ大ニ喜バレルトカ何トカ云フヤウナ所ヨリ、斯ウ云フ案ガ出来タカト思ヒマス、決シテ此森林法ト雖モ社寺林モ随分察シテ、社寺ニモ利益ヲ得ヌ、國家財政上ニ取ツテモ、利益ヲ成ルタケ多ク收メナケレバナラヌノハ當然ノ事デアリマス、然ルニ之ヲ如何ニモ社寺ニ是ハ親切ノヤウデアリマシテモ、決シテ親切デハアリマセヌノデ、森林法ニ依ツテ定メテモ、乃チ其利益ヲ成ルベク與ヘ、官ノ收入モ多カラシコトヲ求メルコトハ、固ヨリ論ヲ俟チマセヌ、ソレデ何モ住職檀徒トカシナクモ、是ハ相當ナル保管人ヲ定メテ出シマシマスレバ事ハ足リマスル、却テ住職トカ檀徒トカ致シマスレバ、此法案ニ依ツテ變ナモノニ爲ツテシマフ、森林法ニ依ツテ此六箇ニ區別シテ其種類ヲ分ケテツレノ定メル時ニナレバ、決シテ差支ハナイモノデアリマス、御料林、官林、部分林、公有林、社寺林、民林ト何モ社寺林ニミ目ヲ著ケテ斯ウシナケレバナリマセヌト云フコトハゴザイマセヌ、私林デサヘモ水源涵養、土砂打止ニ就イテハ容易ニ伐ルコトハ出来マセヌ、大ニ伐ラセハシマセヌ、私林民林デサヘ此ノ如キモノデアル、此一ツ意味ニ社寺林ニノミカヲ入レルト云フコト、唯一方ニノミ偏シテ居ルコト、思ヒマス、殊ニ此森林法ヲ定メルニ就キマシテハ、森林法ノ邪魔物ト思フ、或ハ森林法ニ衝突センコトヲ恐レマス、森林法ガ後ト出来タ時ニ、大ニ差支ルコトガ起リマス、因テ縱令是ニ反對致シマシテモ、百四十九人ノ賛成者ガアリマス、實ニ能ク是ハ御苦勞ニナツテ、斯様ニ賛成モ得マシタカ知レマセヌガ、恐ラクハ是ハ成立ツカモ知レマセヌ、成立ツカト云ツテ恐レルコトハナイ、賛成者ガ百人アツテモ、ナンデモ成立ツテモ仕方ハナイガ、自分ノ意見ノアル所ハ述べナケレバナラヌ、是ヲヤツテモ效ハナイ、唯喜ブノハ表面上ノ事デアツテ、實際ニ至レバ森林法ヲ定メレバ決シテ差支ナイ、因ツテ絶對的反對致シテ、是ハ否決アラシコトヲ望ミマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

〔賛成々々〕ノ聲起ル

○今井磯一郎君(百三十七番) 一寸今ノ反對論ニ就イテ誤解ガアルト思ヒマスカラ一言……

○議長(楠本正隆君) 討論ハ許セナイ、許スナラバ通告ガアリマス——討論終結ノ動議ガアリマスガ……

〔討論終結〕賛成々々ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 討論終結ガ問題ト爲リマシタ、討論終局ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數因テ討論終局ト爲リマシタ、——二讀會ヲ開クヤ如何ノ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數因テ該案ノ二讀會ヲ開クニ決シマス

○田中島雄君(百二十八番) 多數ナラ異議ヲ申立テマス

○議長(楠本正隆君) 確ニ非常ナル多數デゴザイマシテ既ニ宣告ヲ致シマシタ

○今井磯一郎君(百三十七番) 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ願ヒマス

〔賛成々々〕ノ聲起ル「反對」ト呼フ者アリ

○吉本榮吉君(八十二番) 直ニ二讀會ヲ開イテ確定セラレタイ

○議長(楠本正隆君) 直チニ二讀會ヲ開クベシトノ動議ニ就キ決ヲ採リマス、直チニ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ直ニ二讀會ヲ開キマス

社寺林地保管法案

第二讀會

〔田中島雄君異議ヲ申立テマス〕ト呼フ

〔賛成〕ノウ「ト呼フ者アリ」

○議長(楠本正隆君) 二讀會ニ於テハ委員會ノ修正案ヲ以テ議題ト爲シマス

○章刈親明君(二百三十一番) 私ハ削除ノ意見ヲ持ツテ居リマスカラ一言シタイ

○議長(楠本正隆君) 一寸御待チナサイ、委員會ノ修正案ヲ議題ト爲シ、議案ノ箇條ヲ指定シテ議題ト爲シマス、表題カラ第五條マデヲ以テ議題ト爲シマス

○目黒貞治君(二十五番) 本案全部ヲ議題トセラレンコトヲ望ミマス

○議長(楠本正隆君) 今井磯一郎君ノ修正説ガアリマス——今井磯一郎君

〔今井磯一郎君演壇ニ登ル〕

○今井磯一郎君(百三十七番) 私ハ委員會ノ修正ノ第一條ノ修正ニ向ツテ、尙聊カ修正ヲ加ヘヤウト思フ、其理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、此一條ノ委員會ノ修正ハ、先刻モドナカラカ質疑ガゴザイマシタ通り、大體内部ノ條項ト少シ相當致サヌ修正デアル、ドウナラバ委員會ノ全體ハ此全部ヲ社寺上地林ヲ社寺ニ保管サセルト云フ意見デ、茲ニ農商務大臣ニ於テ其社寺ニ保管セシムルコトヲ得ト斯ウ書キマス、之ガ反對ヲ云ヘバ、氣ニ合ハナイ處ハ保管セシメザル處モアルト、斯ウ云フコトニ爲リマス、ソレデ此事ニ就イテハ、先刻委員長ガ少シ御答ニモ鈍ラレタ如キ有様デアツテ、實ハ委員會ノ有様ヲ申シマスレバ、此委員會ガ結了致シマス時分ニ當リマシテ、實ハ此一條ニ就イテ説ガ割レマシタ、之ヲ矢張「農商務大臣ニ於テ其社寺ノ請願ニ依リ保管セシムルモノトス」ト云フ説ガ出マシタデゴザイマスガ、私ハ原案ヲ維持致シマシタメニ説ガ分レマシタ、其傍ヒヨット斯ウ云フ案ガ出マシタノガ、ツイ僅ノ數ガ違フテ成立チマシタ、其後熟考ヘテ見マスルト、ドウモ委員會ノ大體ノ精神ト齟齬スルモノデアルト云フコトニ實ハ氣ガ附イタノデアル、ソレ故ニ實ハ彼ノ委員會デモ能クゴザイマスコトダガ、一旦議長ニ

報告致シマシテモ、未だ議事ニ上ボリマセヌ前ニ再議ニ附シテ改ムルト云フコトガゴザイマスル、サウ云フ風ニスレバ、實ハ此委員會ノ中——九名ノ中七八名——八名マデハ尙ホ修正シタ方ガ宜イト云フ意見ガゴザイマスカラ、先キニ申ス通ノ手續ヲ經テ出シテモ宜イデアリマスカ、併シサウセヌデモ、議場ニ向ッテ成規ノ賛成ヲ得テ改メル方ガ宜イト云フコトヲ提出致シマシタ、即チ委員會ノ多數ハ矢張今私ガ修正シヤウト云フヤウナ意味ヲ以テ居ル、其修正ノ文ハ矢張此現ニ官有ニ屬スト云フマデハ同ジデ「現ニ官有ニ屬シ官用又ハ公用ニ供セサルモノハ農商務大臣ニ於テ其社寺ノ申請ニ依リ之ヲ保管セシムルモノトス」斯ウ改メルノデ、唯仕舞ノ文字ヲ少シ改メルノミデゴザイマス、之ヲ斯ク改メヤウトスル其所以ト云フモノハ、先刻委員長モ縷々述ベラレマシタガ、全體此法案ハ先刻モ種々御質疑モゴザイマスカ、成ル程斯様ニシタラドウナルカト云フガ如キ御論モゴザイマスカ、是マデノ委託林ト云フモノガアリマシテモ、其委託林ノ文面ト云フモノハ必シモ窮屈バカリニ書イテナイ、偕テ營業者ノ取扱ガ如何ノ都合デアルカ、誠ニ少イ——委託ヲ受クル者ガ少イ、ソレニ就イテ取調ベテ見マスルト、三萬三千九百モアル箇所ノ中、僅ニ五十五シカナイ、ソレデアッテモ政府委員即チ高橋琢也君ハ此委員會ノ初ニ當ッテ何ト言ハレタカト云フト、既ニ斯ノ如キ類ノ事ハ、政府ニ於テ規則ニ依ッテ續々爲シツ、アル、斯ウ云フヤウニ言ハレマシタケレドモ、内部ニ這入ッテ見テ、其實ノ舉ッテナイト云フコトハ明ナ事デアアル、之ニ反シテ此御料林ノ方杯ハ、隨分他ノ事ハ嚴シイガ、割合上八千幾ノ社寺上地林カラ往ッテ居ルモノガアル、二百四十九今日現在委託ヲ受ケテ居ルト云フコトデアアル、此邊カラ論ジテ見テモ、先刻政府委員ガ茲ニ喋々述ベラレマシタ、七條、八條ニ就イテ縷々述ベラレマシタコトモ、誠ニ其精神ノ存スル所ガ分ッテ居ルト思ヒマス、然ルニ政府全體ガ此社寺ニハ斯ノ如キ法ヲ以テ、此八條ノ意思ヲ以テヤラナイ精神デアアルカト云フニ、決シテ然ラザルコトヲ私ハ信ジテ居ル、ドウナラバ同ジク政府委員タル金子堅太郎君ガ委員會ヲ開ク最前キニ出ラレマシテ、サウシテ或議員ノ質問サレタ、其保管ト云フコトハ、今マデノ委託林ヨリ少シ進デ居ル、サウスレバ矢張政府ニ於テハ、之ヲ若シ法律トシテ是非保管爲サシムルコトノアツタトキハ如何デアアルカト云フコトヲ問ヒマス、最早今日ノ場合ト爲ッテハ、政府ハ全然委託スルコトヲ同意スルト云フコトヲ明言致サレマシタ、ソレニ依ッテ成立ッテ參ッタモノデゴザイマスルカラ、決シテ「セシムルコトヲ得」ト云フヤウナ、誠ニ薄弱極ッタモノヲ書イテ置カヌデモ宜シイト思フ、又先ニモ申シマス通、今日ノ如ク此八條位ノ事ヲ書イテサヘ御心配セラル、御考デアッタ時分ニハ、大層許サナラヌト云フ御精神カ知ラヌガ、此一條ヲ此儘置キマスナラバ、サウ云フ方バカリデモナカッタトキニハ、誠ニヒドイ目ニ合ハサレルト云フコトガ俄然ニ起ルカモ知レマセヌト思ヒマスガ故ニ、矢張法律トシテ書ク以上ハ、唯今申ス通ナ法文ニ改メテ置クガ最モ至當ト考ヘマ

ス、序ニ一言申シテ置キマスガ、唯今政府委員ハ頻ニ八條ヲ加ヘタノハ不當デアルト言ハレタガ、ドウモ私共ニハ意味ガ分ラヌ、八條ハドウ云フコトデアアルカト云フト、七條、八條ニ於テ

(「問題外」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 討論デアリマセヌカ

○今井磯一郎君(百三十七番) 討論デアリマセヌ、修正ノ意味ヲ辯明スルニ

牽聯シテ言フノデス、ソレデ一言尙ホ申シテ置キマセヌケレバ、此一條ヲ斯ク改メナケレバナラヌト云フ精神ヲ述ブルニ當ッテ、此七條ヲ——八條ヲ斯ク致スニ就イテハ述ベナケレバ或ハ御分リニナラヌト思ヒマスカラ言ハナケレバナラヌ、ドウナレバ(草刈親明君「ソレハ八條ニ往ッテ言フタラドウデス」ト呼フ)一條ヲ言フニハ、ドウシテモ言ハナケレバナラヌ、ドウナレバ七條デハ普請ヲスルトカ、修繕トカ、或ハ建築トカスルトキニ當ッテ、木其物ガ是非必要デアルト云フトキニ之ヲ伐採スル、ソレヲ伐採スルニ如何ナルトキニモ伐ッテ宜イト云フノデハナイ、營林上差支ナイト云フ場所ニ於テト云フノデアアル、所デ、八條ニ書キマシタノハソレト全ク趣旨ガ異ッテ、山其モノガ、社寺林其モノガ伐ラニヤアナラヌト云フ時代ニ爲ッテ來タモノト云フ意味デ、即チ古存木ノ如キ、或ハ竹杯ニ至リマシテハ、普請スルマデ待ッテ、幾ノ古クナッテモ伐ラヌデ置クト云フ精神デアハナイ、是ハ矢張年々スキ伐リヲセヌト、竹林ト云フモノハ成立タヌ、サウ云フ場合ニ限ッテ之ヲ伐ラウト云フデ、ソレヲ伐リマシタナラバ、偕テソレガ彼ノ糞坊主ノ物ニ爲ルカト云フ懸念ガアルカモ知レマセヌガ、決シテサウデナイ、是ニ就イテハ私ハ内務省ヘモ打合セタ、内務省ノ方ハ社寺財產ノ取締ハドウ爲サルト聞キマス、是マデハ完全ナル取締法ガナカッタガ、社寺財產取締法ト云フモノヲ不日作ル積デアアルカラ、此場合ニ若シ金其物ガ出來タ時分ニハ、嚴格ナル取締ヲスルカラ、其邊ニハ懸念ナク、此社寺上地林ノ如キハ、宜シク御極メニナッテ苦シウナイト云フコトデアリマシタ、サウ云フ譯デアリマスカラ、此條項ハ是非入レテ置カナケレバナラナイ、又政府ハソレガタメニ斯ウ云フコトヲシテハナラヌト頻ニ言ハレマスガ、御心配ノナイ話デ、サウシテ此十三條ニ在ル大樹ト云フコトヲ抜クト云フコトハ、大變ナ御話デアリマスガ、是ハ一條ヲ述ベルニ就イテ最モ必要ナ事デ、ドウカト云ヒマス、此大樹ト云フ文字ヲ抜キマス、今政府委員ガ言ハレマス通、種々森林ニ就イテノ事ハ大抵御開キデゴザイマセウガ、政府ガ今尙ホ隨分續々伐ッテ居ル、是ハ私ハ其續々伐ラセナイ積デアアル、社寺其物カラモ容易ニ伐ラセズ、萬已ムヲ得ナイトキデナケレバ伐ラセズ、又政府ニ於テモ濫ニ之ヲ伐ルト云フコトハサセナイ、斯ウ云フ考カラシテ此法案ヲ是非作ラウトシタ所以デアアル、ドウナレバ斯ウ致シマセヌケレバ矢張社寺林ノ中、此風致ト云フコトニ關係ノアル分ハ濫ニ伐リマスマイガ、少シク傍ヲ杯ニ在リマスモノハ、矢張政府ガ續々伐ルト云フコトハ現ニ今アルノデアリマス、故ニ是デハ社寺ニ保管爲サシメタ方ガ、最

モ當然ナ事デアラウト思フ、又先刻ドナタカ此國庫ノ經濟上云々ト云フ御話モゴザイマシタガ、實ハ四百万町歩ニ對スル僅ニ七万七千町歩ヤソコヲノモノヲ以テ、國庫ニ大層影響スルト云フコトハ、少シク御話ガドウデアラウカト思フ、若シ國庫ニ收入ガアルトスルモ、各村ニ跨ッテ居ル三万三千九百モアル箇所ヲ、一々政府デ持ッテ居ッテスルト云フコトハ、監督上ニ於テモ大ナル不利益アル、是ハ社寺ニ任セテ保管サシテ、其利益ヲ以テ社寺ヲ維持保存スルニ就イテ使用スルト云フコトガ、最モ當然デアアル、ソレ故ニ此一條ハ斯ウ改メヌケレバナラナイ、又委員會ノ模樣ヲ申セバ、委員會ニ於テモ最モ斯ウ改メタ方ガ至當ナリト云フコトガ大多數ニ爲ッテ居リマスカラ、一言茲ニ申述ベテ置キマス

○中村彌六君(二百五十四番) 質問ガアリマス、一寸一條ニ就イテ御尋致シマスガ、私ノ記憶スル所ニ依レバ、全體全國ノ社寺上地林ト云フモノハ十二万程アルト思ヒマス、唯今御辯明ニナッテ所デモ七万ト云フコトノ數ガ出マシタガ、惟フニ是ハ現ニ今政府ノ所管ニ屬シテ居ルモノヲ御呼出シニナッタト考ヘマス、而シテ此法案ニハ社寺ノ上地ト云フコトガ書イテアッテ見レバ、唯今帝室ニ屬シテ居リマスモノハ三万以上四万以下アルト記憶シテ居リマスガ、山梨縣、神奈川縣、靜岡縣、岐阜縣ノ一分、愛知縣ノ全面、東京府、長野縣ノ一分ハ皆御料局ニ屬シテ居ル、其中ニ在リマス社寺上地林ハドウナルノデアアルカ、農商務大臣ガ云々トアリマスケレドモ、是ハ官有ニ屬シテ居ナイ、農商務大臣ノ職權ノ及ブ所デナイノデアリマスガ、是ハ抜イテ居リマスガ、社寺ト云フコトノ法文上デハ書イテアリマスケレドモ、其中帝室ニ屬シテ居ル所ト云フモノハマルデ取除ケニヤナラナイ、同ジ法律ヲ拵ヘテモ餘程一部分ノ社寺ト云フモノハ、其恩澤ヲ受ケナイト云フヤウニ見エマスガ、此邊ハ如何デゴザイマスカ

○今井磯一郎君(百二十七番) 御答シマス、ソレハ最初ノ此第一讀會ニ於キマシテモ、其御尋ガアリマシテ御答ヲ致シテ置キマシタ、ソレ故ニ茲ニ「現ニ官有ニ屬シ」ト云フ文字ヲ置キマシタノデ、成ル程今列舉シテ申サレル所ノ府縣ニ在ル社寺ノ如キハ、不幸ナヤウデアリマス、サリナガラ是ハ此議場ニ於テ直ニ斯クミト云フベキ問題デナカラウト思フ、御料林ニ爲ッテ居ル分ハ、皆テ御料林ノ御處分ガ何レアルダラウト思フ、ソレハドウナレバ他ノ例ヲ舉ゲテ申シマシテモ、此農商務省ニ於テ既ニ處分ヲセルモノニ向ッテハ、ソレ同様ノコトヲ是迄始終爲シ來ッテ居ラレル故ニ、此御料林ノ事マデ喰入ッテ議論ヲスルト云フコトハ甚ダ恐ル、コトデアリマスカラ、提出者ハ現ニ官有ニ關シ云々ト書イタ譯デゴザイマス

○中村彌六君(二百五十四番) 尙ホ引續イテ質問致シマスガ、ソレデハ官有ニ屬シタモノヲ斯様々々ノ法律デ極メタナラバ、御料局デ斯ウスルダラウト云フ、ダラウ說デダラウト云フコト、承知シテ宜シイデスナ

○今井磯一郎君(百二十七番) ソレヨリ仕方ガナイ

○中村彌六君(二百五十四番) ソレデハダラウト承知シマス、尙ホ其上ニ御聽申シマスガ、今官有ニ屬シ云々ト云フ御話ガゴザイマスケレドモ、私ノ記憶シテ居ル所デハ僅ニ七万町歩ト云フ、町歩デ町歩ハ七万町歩デゴザイマスガ、之ヲ價額ニ積ッテ見マシタナラバ、五千万圓ハ、下ラヌ價額ノモノデゴザイマス、町歩ハ誠ニ些々タルモノデアリマスガ、實ニ全國ノ粹ヲ抜イタル森林デアッテ、五千万圓ノ森林ノ保管其收益ヲ今ノ社寺ニヤルト云ヒマス、是ハ取リモ直サズ社寺ト云フモノニ對シテ五千万圓——公債證書デモ惡ルク言ヘバ腥坊主ニ遺ルト云フコトニ爲リマスガ、其價格ハ五千万圓ニ上ボッテ居ルト云フ國有財産ノ事ハ御承知デゴザイマス

○今井磯一郎君(百二十七番) 御答致シマス、中村君ハ昨年モ今申サレル同様御質疑ガアリマシタガ、是ハ社寺ノ森林ヲ總テ伐絶セシマフベキ性質カラ論ジタラ、或ハサウ云フコトモアリマセウガ、私ガ之ヲ論ズルノハ社寺ニ森林ハ容易ニ伐ラセナイ、即チ保存林ト解シテ宜イト云フ位ノ性質ヲ以テ保管ヲ爲サシメルト云フノデアリマスカラ、アナタガ言フ幾ラミト云フ價ハ、社寺其物ニチャント立テ、置イテ價ノアルト云フモノデハナイ、サウ御答ヲ致シマス

(「討論終結」ト呼フ者アリ)

(「草刈親明君演壇ニ登ル」)

○草刈親明君(二百三十二番) 本案ハ大變ナ連名デ提出ニナッテ居リマスカラ、如何ニモ一讀會デ通過シタト云フヤウナ有様デゴザイマス故ニ、二讀會モ或ハ首尾能ク通過スルカモ知ラヌト存ジマスガ、通過スルニ就キマシテモ、特ニ愚見ヲ述ベマシテ、サウシテ此案ノ甚ダ其當ヲ得ナイト云フコトヲ申スノ必要ガアルト思ヒマス即チ唯今議題ニ相成ッテ居リマス所ノ社寺上地林保管法ト云フ所ヨリ、第五條マデハ本案ノ精神骨髓トモ謂フベキモノデアラウト思ヒマス、故ニ私ハ此案ニ對シテハ、絶對的ニ反對ノ說ヲ抱イテ居ル者デゴザイマスルガ故ニ、根本骨髓トモ謂フベキ所ノ第一條ヨリ第五條マデノ削除說ヲ提出致シマス、即チ社寺上地林保管法ト云フ、是ハ其儘ニシテ置キマシテ、一條カラ五條マデ取ッテシマフ(「ソレハコダツケダ、三讀會ノ時ニスベシ」ト呼フ者アリ)御聽キナサイ、一體第一條ノ趣意ハ、社寺ノ境界ニ在ル上地林ニシテ、現ニ官有地ニ屬シテ居ルケレドモ、官若クバ公有ノ用ニ供セラレザルモノニ限ッテ、農商務大臣ハ其樹木ノアル所ノ社寺ニ之ヲ管理セシムルコトヲ得ト云フ法案デゴザイマス、故ニ此法案ヲ審議スルニ當リマシテハ、先ヅ第一ニ研究ヲ要サナケレバナラヌト思ヒマス問題ハ、今日既ニ社寺境界ノ上地林ニシテ、サウシテハ官用若クハ公用ニ供セラレザルモノデアルト云フ、其段別、其場所ト云フモノハ、既ニ確定シテ居ルカ、居ラナイカ、即チ言葉ヲ換ヘテ云フナラバ、斯ウ云フ土地ト云フモノハ、日本國中ノ中デ既ニ調査ノ上ニ定ッテ居ルモノデアアルカ、定ッテ居ラヌモノデアアルカト云フコトヲ一ツ吟味シテ見ナケレバナラヌト思ヒマス、何トナレバ縱令斯

ノ如キ法案ガ可決致シマシテモ、現ニ今日日本ノ此國ニ於テ、果シテ第一條ニ當該マル土地ノ調査ガ行居カヌモトスレバ、此法律ト云フモノハ施行シテモ遂ニ無効ニ爲ルデアル、即チ效用ト云フモノヲ奏サヌノデアル、又第二ニハ此原案ガ可決シタナラバ、上林地ト云フ其土地ノ所有權ハ固ヨリ官ニ在ルニ相違ナイガ、其樹木ノ所有權ト云フモノハ何人ニ屬シテ居ルカト云フ考ヲ持タナケレバナラヌ、是ヨリ聊カ其理由ヲ申シマスガ、先ヅ第一ニ問題ヲ設ケタ所ノ第一條ニ言フ所ノ是等ノ官地ト云フモノハ、今日此調査ガ濟ンデ居ルカ、濟ンデ居ラヌカト云フコトニ相成リマスレバ、諸君ハ今年度ノ豫算案ニ於テ御結了ニ相成リマシタ通、彼ノ山林調査ト云フモノハ未ダ其十分ノ一ニモ達シナイデゴザイマセウ、日本全國ノ官林、總テ土地ノ調査ト云フモノハ(簡單々々)ト呼フ者アリ又「違ッテ居ル」ト呼フ者アリ未ダ行居カヌノデアル、成ル程本案ハ直接ニハ彼ノ豫算ニアル所ノ事項ニ當該ラヌモノモアルデゴザイマセウケレドモ、彼ノ事項ガ定ッテカラ後ニ、日本ノ社寺境林外ノ土地ガ必要デアルカナイカト云フコトヲ定ムル、此必要ノ問題ガ起ッテ來ルモノデアル、何トナレバ彼ノ豫算案ノ中ニ言フ所ノ社寺ト云フモノハ、此中ニ這入ッテ居リマセウケレドモ、此第一條ニ在ル山林ノ樹木ガナケレバ、日本ノ經濟上頗ル適當ヲ失スルト云フ話ハ、豫算案ニ在ル所ノ其項目ノ中ニ此第一條ノ樹木ヲ挿入スル、即チ差加フルト云フ必要ガ生ジマス、又第二ノ其土地ノ所有權ハナシ、森林ノ所有權ト云フモノニ就イテ、今井君ナリ、齋藤真輔君ニ御注意ヲ願ヒタイ、凡ソ物トシテ其物ヲ定メタ以上ハ、必ズ直接ノ此所有者、占有者ト云フモノヲ定メナケレバナラヌ、此森林ノ所有者ハ誰デアル、森林ノ占有者ハ誰デアルト云フコトハ、定メル必要ガアルノデアル、然ルニ委員長タル齋藤君ハ、高橋君ノ質問ニ對シテ何ト云フタ、ソレ等ハ定ラヌ、ソレ等ハ未定デアル、即チ第一ハ其社寺ノ所有デアルト云フヤウナ御答ニ爲ッテ、第二ノ質問ニ對シテ何人ノ所有デナイト云フ答ヲシタ、是ハ甚ダ奇怪ニ堪ヘナイ、若シソレ齋藤君ガサウ云フ御答ヲ爲サラヌダッタト言ハル、ナラバ、此森林ハ何人ノ所有デアルカ、何人ノ占有デアルカト云フコトノ明答ヲ得タイノデアル、諸君、例トシテ私ハ他ノ條ヲ引キマスガ、政府委員モ言フ所ノ此第十三條ニ依ッテ見レバ、政府ハ此森林ノ中ニ必要ナル樹木ガアル、伐採センケレバナラヌト云フ必要ニ差迫ッテモ、此十三條ニ依ッテ見レバ、軍艦等ヲ造ルヤウナ太イ樹ノ外ハ伐ルコトガ出來ナイ、即チ政府ガ此樹木ヲ使用スルノ上ニ於テ、此樹木ヲ使用スルノ上ニ於テハ此法律ヲ以テ制限ヲ置ク、即チ大キナ木ハ伐ルコトハ出來ルケレドモ、小サナ木ハ伐ルコトガ出來ナイ、サウスレバ政府ノ所有デモナケレバ、政府ノ占有デモナイ、何トナレバ政府ノ所有タル森林タルテ於テハ、何故ニ權利ノ上ニ制限ヲ爲サル必要ガアリマスカ、之ニ反シテ唯今削除セントスル其第三項目ノ七條ニ在ル所ノ此條文ニ依ッテ見レバ、社寺ト云フモノハ必要ナル場合ニハ、社寺ノ樹木ハ何時デモ伐採スルコトガ出來ル、即チドノ木デモ山林局長ノ許可ヲ得

レバ伐ルコトガ出來ル、寺ノ坊サンガ其寺ヲ建築セントスルトカ、修繕スルト云フ時ニ當ッテ、其森林中ノ太イ木ナリ、細イ木ナリ、何ナリ、山林局長ノ許可ヲ得レバ皆伐ッテシマフコトガ出來ル、絶對的ニ權利ヲ與ヘルモノデアル、斯様ニ爲ッテ居リマスレバ、此場合ニ於テハ或ハ又所有權、占有權ト云フモノハ社寺ニ在ルモノ、如クデアル、然レドモ又翻ッテ此樹ヲ伐採スルニ當ッテ、山林局長ノ許可ヲ得ナケレバナラヌト云フコトニ爲リマスレバ、或ハ山林局長ノ所有ノヤウニ爲ッテシマフ、斯様ナ相分ラヌ所ノ法律ヲ出シテ、サウシテ嗚呼ガマシクモ、私ノ演說ヲ妨グントスル齋藤君ナドノ御良心ガ分ラヌ(簡單々々)ト呼フ者アリ最早止シマス、斯様ニ論ジテ見マスレバ、此條項ト云フモノハ即チ第一條ノ規定ノ如キ、此第二條ノ規定、第三條ノ規定ノ如キモノハ、實ニヘンテコナルモノデアッテ決シテ其當ヲ得ナイモノデアアル、斯様ニ信ジマス(定數ニ足ラヌ)ト呼フ者アリ先ヅ長クナリマスルト、此問題ガ明日ニ殘ルト思ヒマス、私ハ明日ニ殘シテ潰シタイト思ヒマスレドモ、餘リ昇性ト思ヒマスカラ、是デ降壇致シマス

○議長(楠本正隆君) 是ヨリハ、決議ヲ採ル場合デアリマスルガ、議長ハ出席員定數ヲ缺イタリト認メマス、因テ明後日ノ議事日程ヲ報ジマス

(佐脇書記官朗讀)

議事日程 第四十三號 明治二十九年三月二十一日(土曜日)

午後一時開議

- | | |
|--|--------------|
| 第一 森林法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第二 葉烟草專賣資金會計法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第三 京都府下郡分合法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第四 (甲)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第五 (乙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第六 (丙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第七 (丁)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第八 (戊)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第九 (己)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第十 社寺林地保管法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十一 岡山縣廣島縣境界變更並廣島縣下郡界變更法律案(守屋此助君外二名提出) | 第二讀會ノ續 |
| 第十二 廣島縣下郡界變更法律案(井上角五郎君外三名提出) | 第一讀會 |
| 第十三 蠶種検査法案(朝倉親爲君外三名提出) | 第一讀會 |

第十四 輸出羽二重検査所法案(松田吉三郎君外六名提出) 第一讀會

第十五 清國及朝鮮國在留日本人取締法案(鈴木充美君外一名提出) 第一讀會

第十六 帝國圖書館設立ノ建議案(鈴木充美君外三名提出)

第十七 棉作改良獎勵費豫算案ニ關スル建議案(喜多川孝經君外二名提出)

第十八 牛痘苗製造業者處分ニ關スル建議案(脇坂行三君外三名提出)

第十九 絹織物保護建議案(久保九兵衛君外三名提出)

第二十 水産傳習所官設建議案(改野耕三君外五名提出)

第二十一 測候所増設ニ關スル建議案(濱田儀一郎君外二名提出)

第二十二 天氣豫報暴風警報ヲ全國ニ普及スル建議案(多田作兵衛君外二名提出)

第二十三 高等學校ヲ獨立セシムルノ建議案(波多野傳三郎君外五名提出)

第二十四 義勇兵團設置建議案(直原守次郎君外一名提出)

第二十五 別格官幣社ヲ臺灣ニ建設スルノ建議案(北原信綱君外二名提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第二十六 水火消防組ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第二十七 山形縣下郡界變更法律案 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第二十八 日光山社殿修繕ニ關スル請願 第一讀會ノ續(請願委員長報告)

第二十九 大和國古社寺保存ニ關スル請願 第一讀會ノ續(請願委員長報告)

○議長(楠本正隆君) 是ニテ散會ヲ報シマス 午後五時三十一分散會

衆議院議事速記録第四十號正誤

頁 段 行 誤 正
六三七 下 三三 名稱 差等